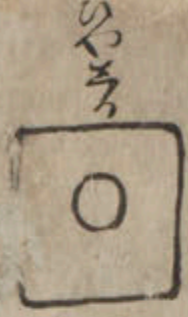
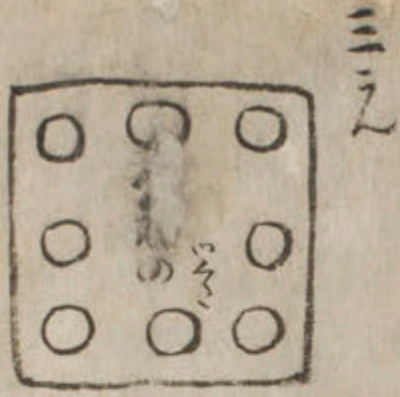
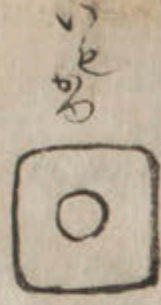
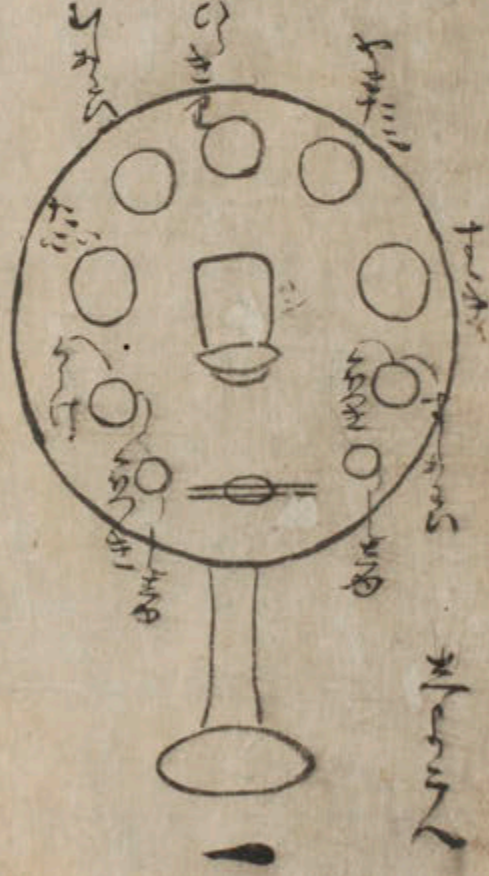
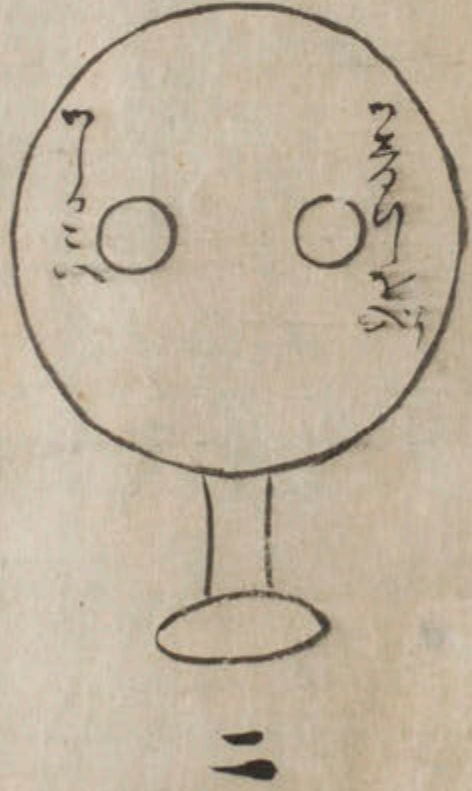


11 2 3 9 4 7 5 6 8 10



三

大徳元年

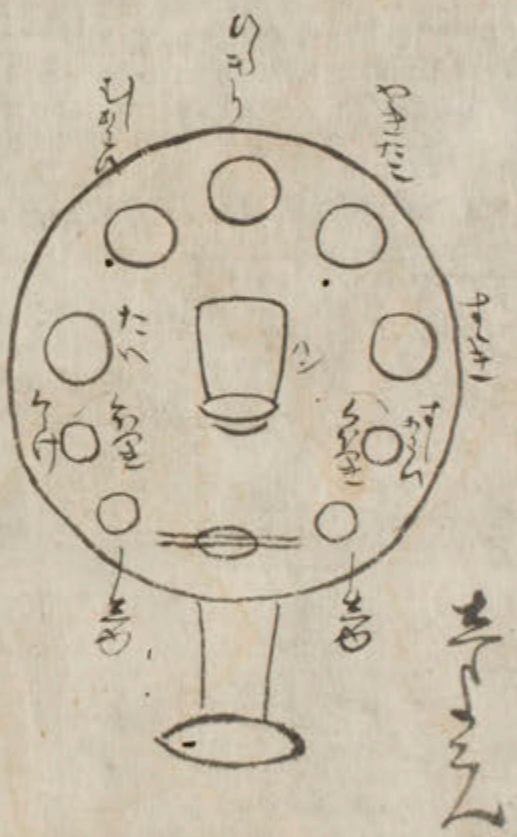
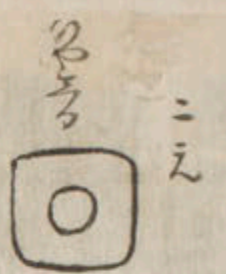
兼直日

大徳元年

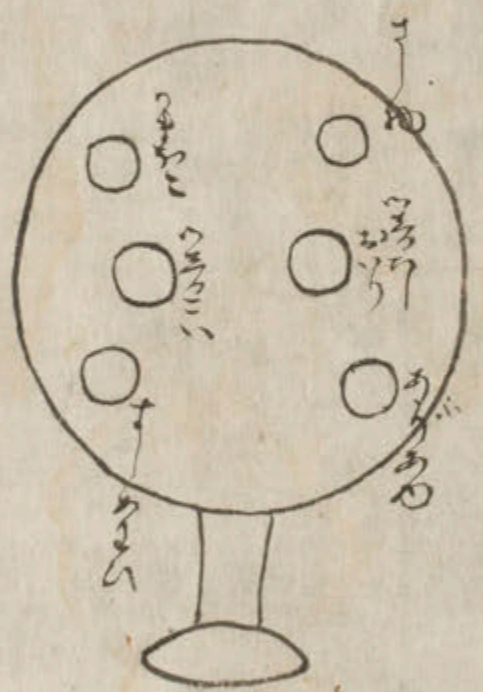
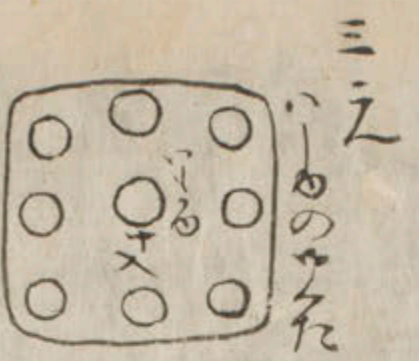
大徳元年
大徳元年



二
一
武蔵守 〇
二
一



二
一



二
一

武蔵將軍 〇

永徳元年六月廿六日

〜 〇 〇 〇

永徳元年七月十日

武蔵守 〇

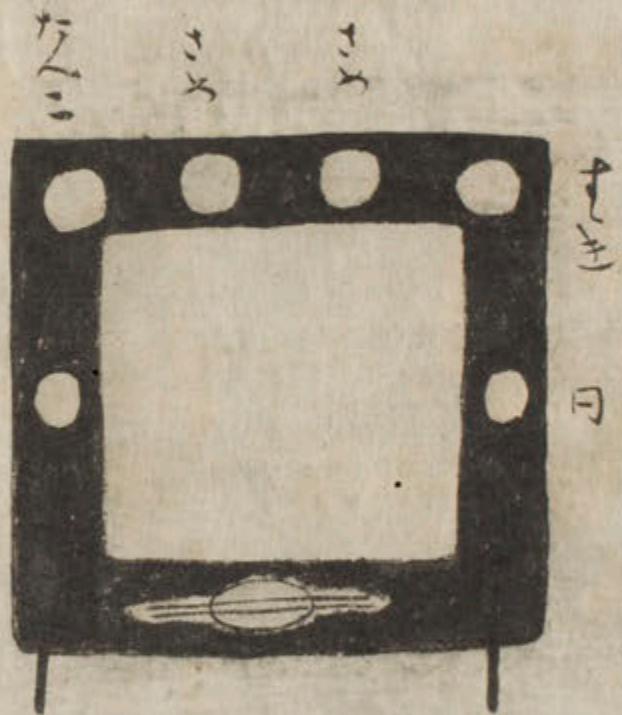
神守 〇

永徳元年六月廿五

りしむのたは

永徳元年七月十日

武家の軍家
耕野始_第



二、BGMV...
二、G...
二、...
二、...

大將大領次郎

次郎

二程

二程

Handwritten text on the right edge of the page, partially cut off.

大将大御方

一 行 幸 御 所

次 行 幸 御 所

又 行 幸 御 所

又 行 幸 御 所

又 行 幸 御 所

次 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

三 元

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一 行 幸 御 所

一人二枝
一かきまめ二枝

かきまめ
かきのちこまめ
かきのちこまめ

三え

二行き
二行き
二行き

かきまめ
かきまめ
かきまめ

一かき
一かき
一かき

四え

かきまめ
かきまめ
かきまめ

五え

かきまめ
かきまめ
かきまめ

尊者

主人

かきまめ

かきまめ
かきまめ
かきまめ

尊者
尊者
尊者

主人
主人
主人

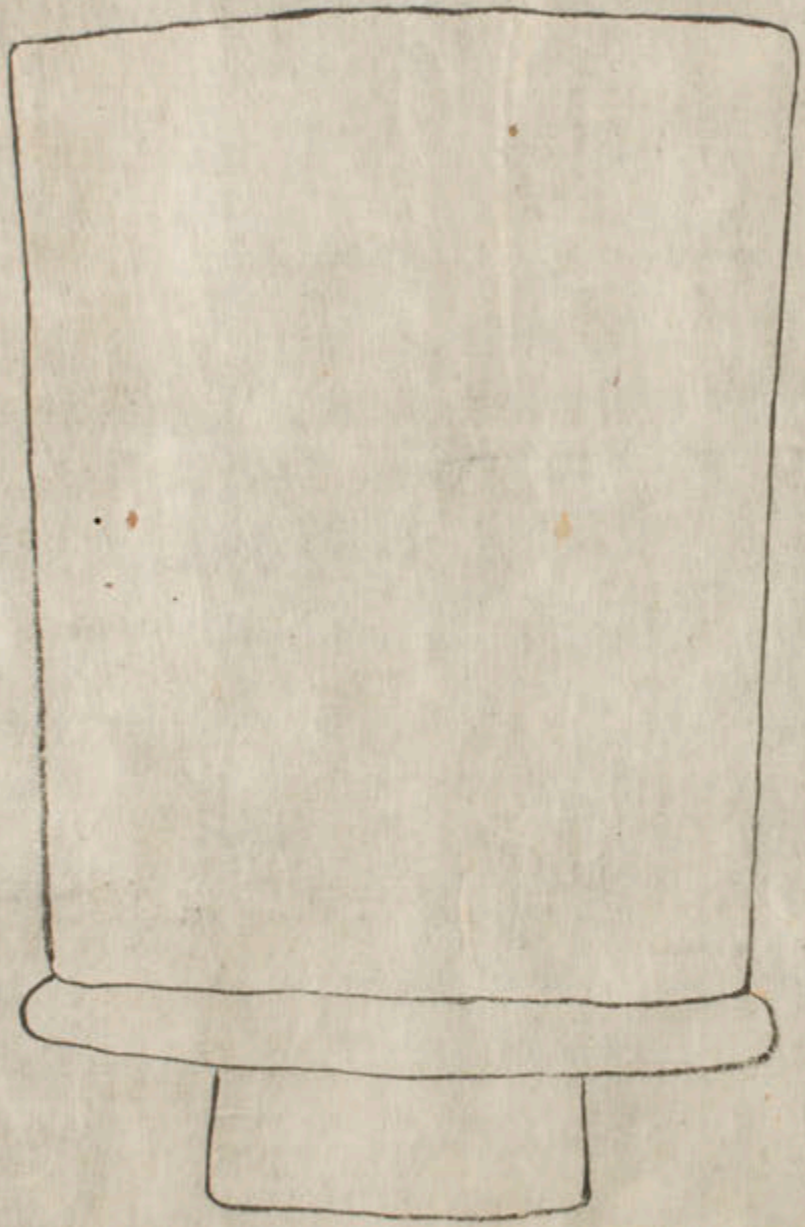
尊者
尊者
尊者

尊者
尊者
尊者

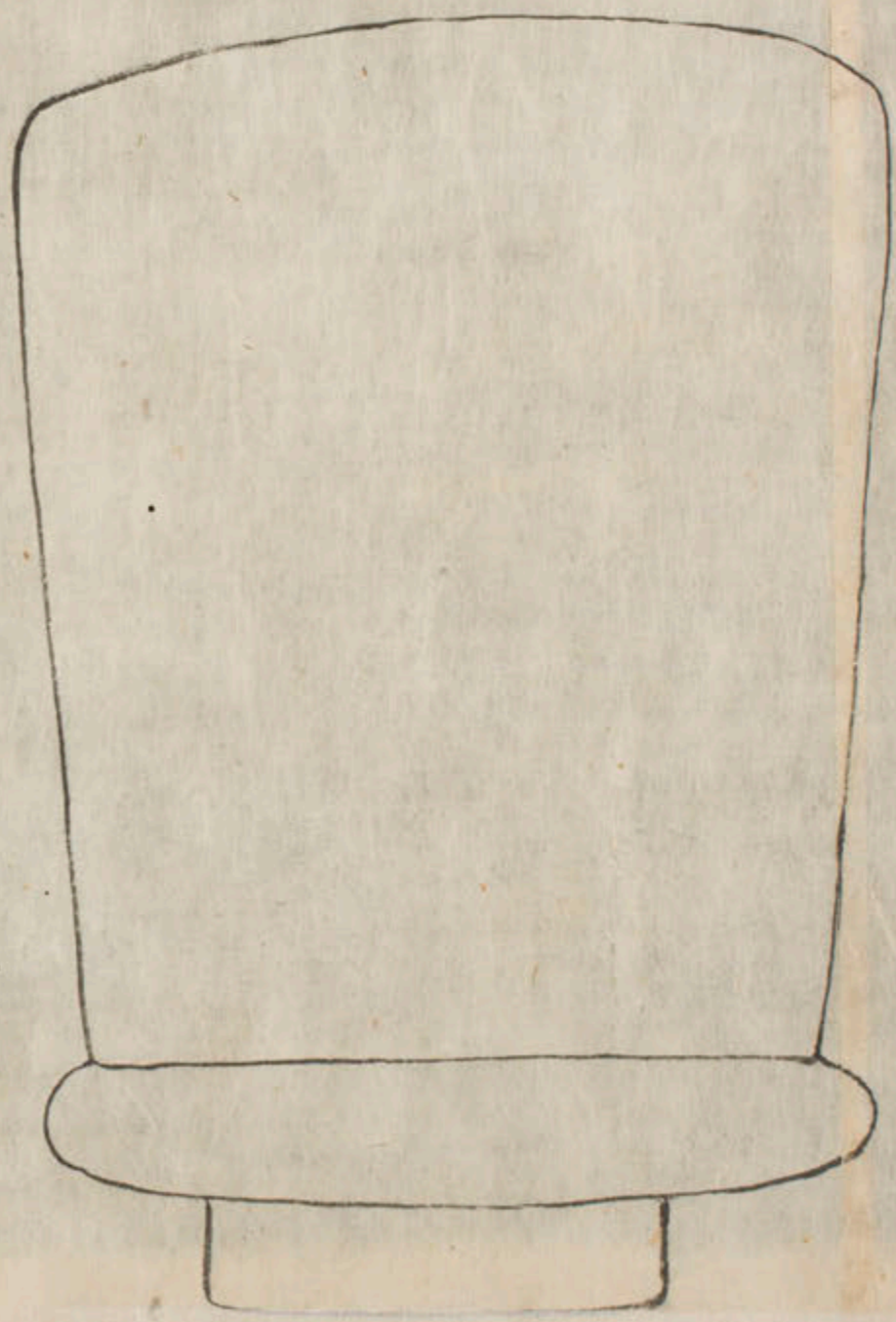
尊者
尊者
尊者



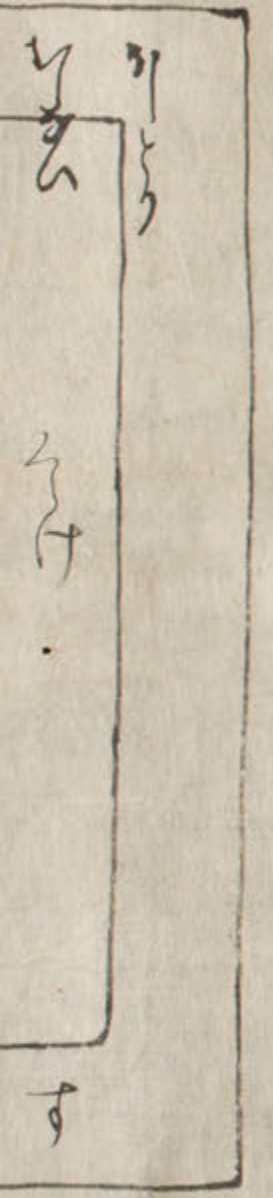
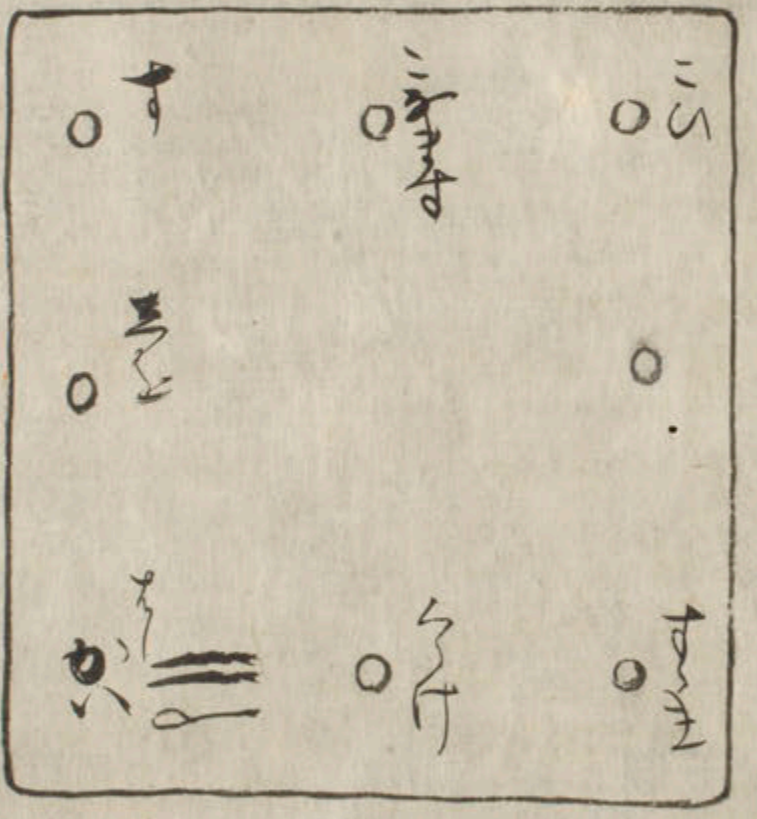
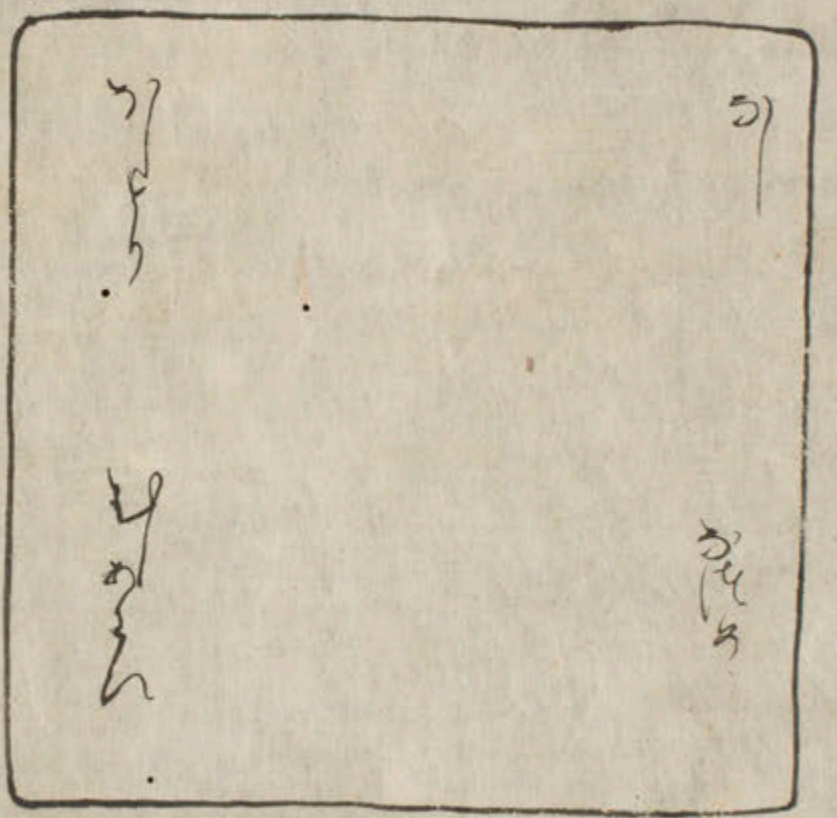
主人御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物



御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物
御持物



主人專務此處之事務



饗膳色目

寛元 元應例
随文書所在者也

菓子

梨子

菓子
菓子

干物

干鳥

干鳥
干鳥

生物

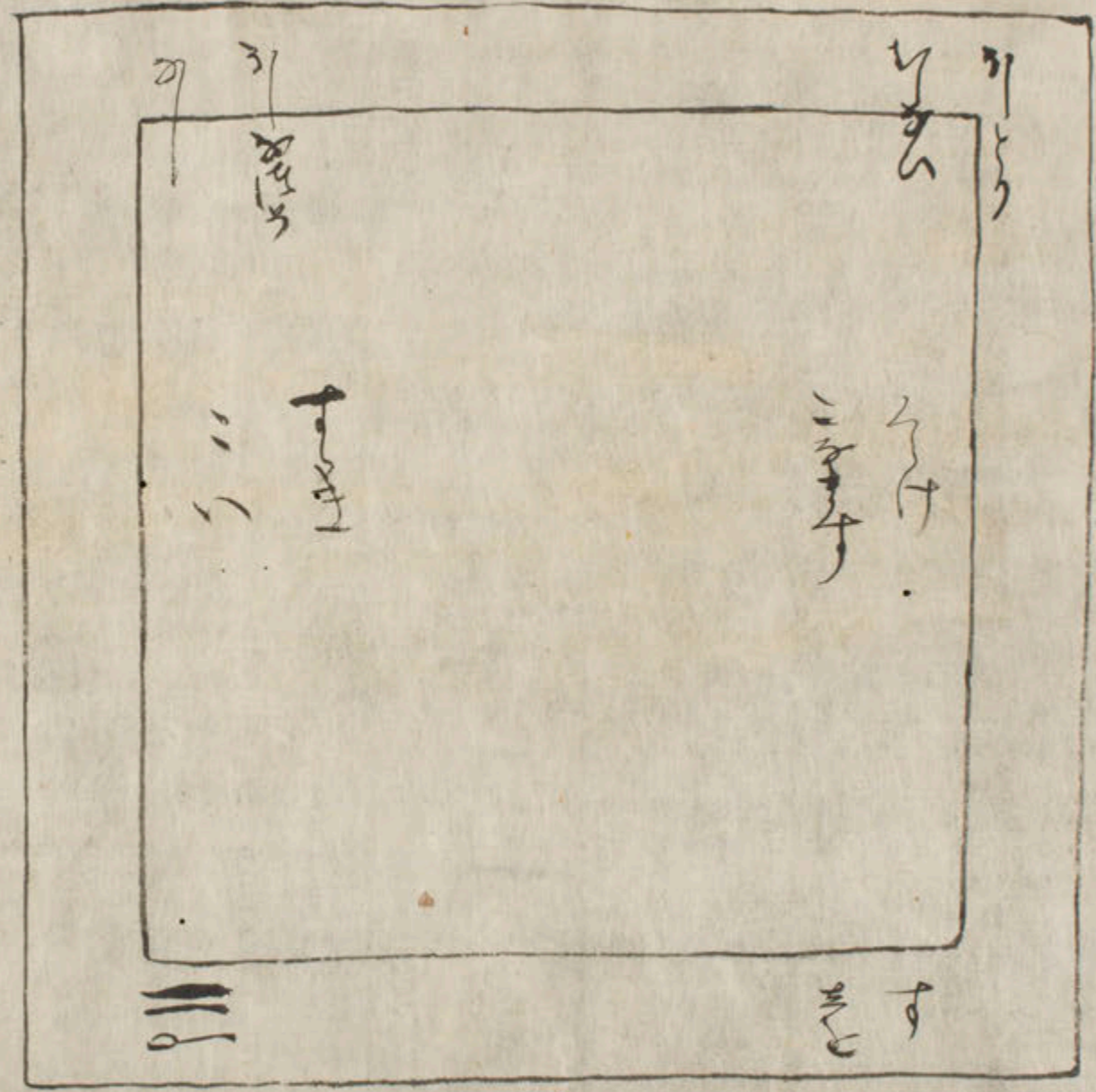
蝦鱈

鱈

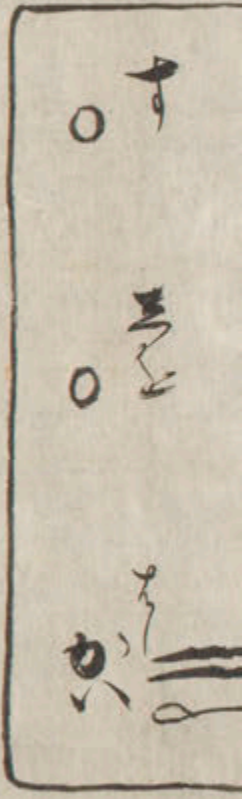
産坏物

海月

蛸兒膳



菓子



干物

干鳥

蒸杞

生物

雞鱸

鱸

雀坏物

海月

鮎兒膽

酢塩

箸七無上蓋

冷汁

汁膽副賣

小鳥燒物

栗汁

製鮎製姜姜

副雞頭草

加轉製菜

鮎鮎燒物

加煎

追菜子

菱 淡柿

夜谷三切盛之

心餐膳公物

衛膳可前

机赤木
面白絹

辨辨少他言膳色目

同前机黑柿 面白絹

上官餐十前

机朴木十二前面白絹

色月

菜子

梨子

干菜

干物

楚割

押鮎

生物

雞

鱸

雀坏物

海月

鮎兒膽

梨子

干菜

干物

楚刺

押結

生物

錠

錠

瘥坏物

海月

錠兒膳陰

汁物亦同前

追菓子月前

一穩座有物書

主人三不之各高月坏繪折敷

一本菓子干物

一不生物指塩

一不箸四種物削梨居白折敷味葛

納言以下各二不之

一不菓子干物

一不生物指塩箸四種

渡後殿御食十前諸司機色二種物生物追物八種

諸大史餐十前机目色月月前

檢北透使餐太前机目色月月前

奉高心隨身餐十前今度被畧也

史生餐

使部餐

之明官人餐

真者御共下了未番及清牛飼清草旬大番

後殿餐十前諸司札色二種物干生物追物八種
諸大吏餐十前札同色月月前
折敷二種

檢北邊使餐十前札同色月月前

奉前口隨身餐十前今度被畧色月月前

史生餐

使部餐

立明官人餐

尊者御共下了六番及清牛飼清車割大番
仕了

正加點分以代物可被下行候

地下五人餐十前

生于二種物汁物二種追物二折敷二種

此外

鷄雞養養生地

居繪折敷

次裏焼鮫

正四麻之儀

次辰菓子

森車栗
枝柿

居繪折敷

右儀進如左

永德九年七月十日

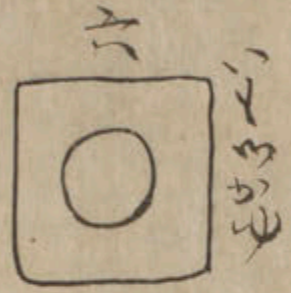
永享四年

大德長之圖之字

大德長之圖之字

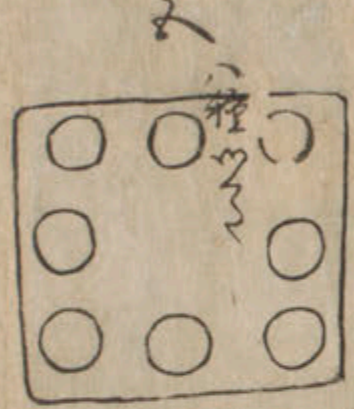
永享四年
大徳寺之圖之字

大徳寺之圖之字



六

六



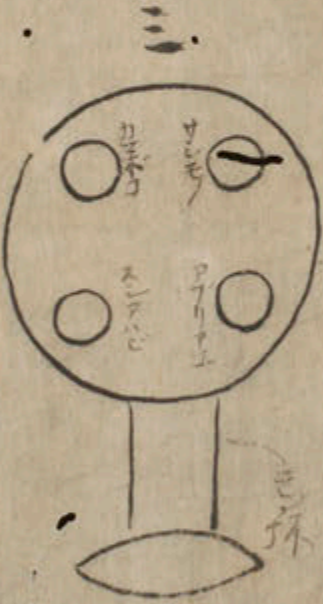
六

六



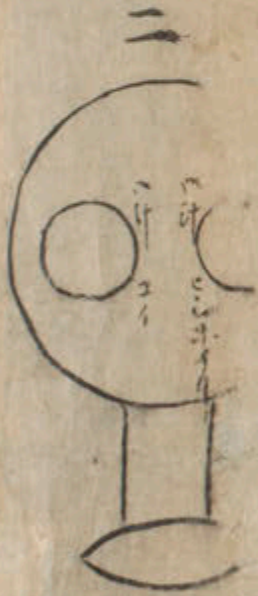
二

二



三

三



二

二



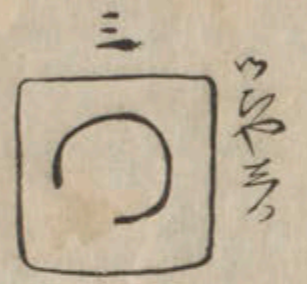
七

七

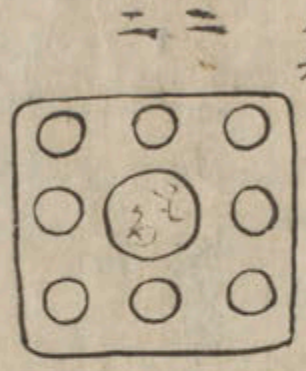
此紙は...
 永正二年六月廿四日
 香永判

永正二年六月廿四日
 香永判

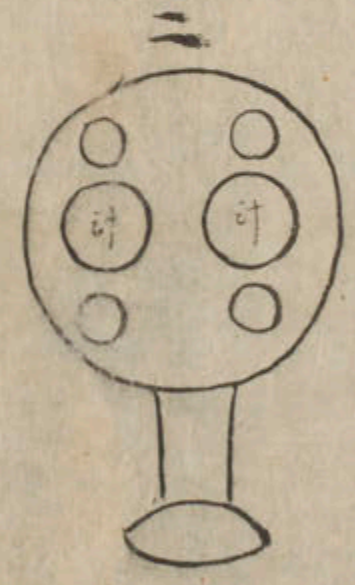
厨子前着押書
 香永判



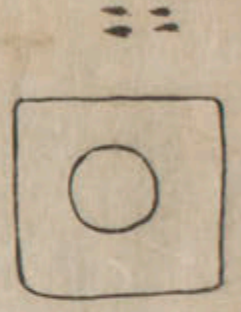
三



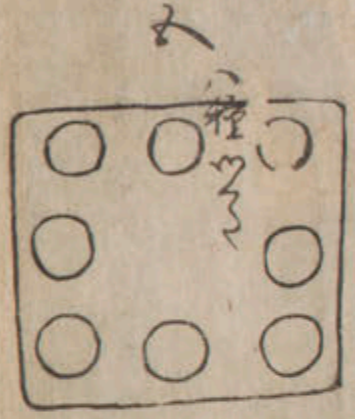
八種



香永



二



永徳元年六月廿日

厨子前若狭守

季承

無二回目

おぼろけの夢

おぼろけの夢
おぼろけの夢
おぼろけの夢



おぼろけ
おぼろけ
おぼろけ

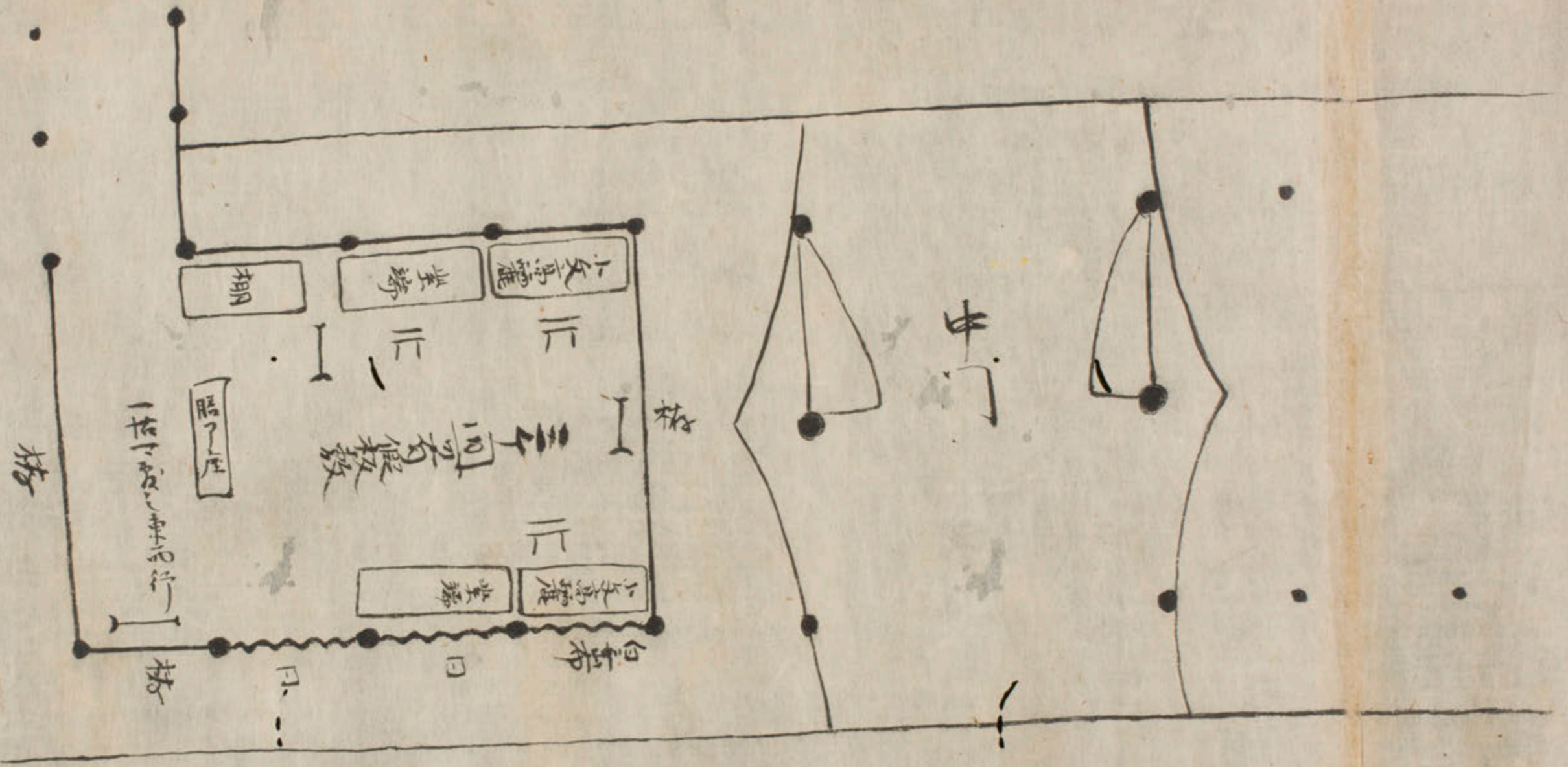
永徳元年七月十日

季承

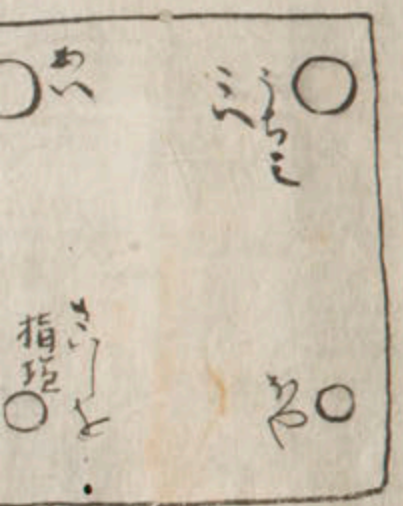
おぼろけの夢
おぼろけの夢
おぼろけの夢



Handwritten text on the right edge of the page, partially cut off.



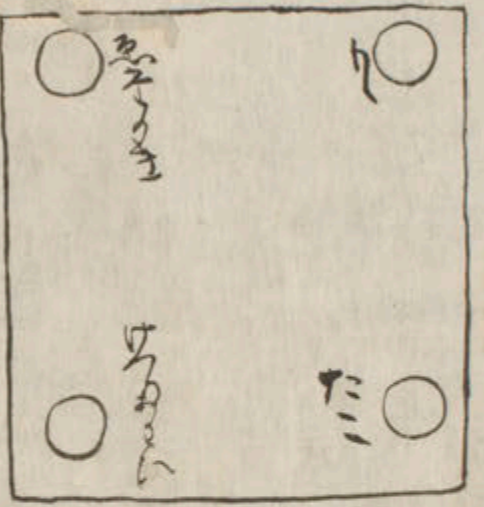
至人尊有...
Handwritten text at the top left of the page.



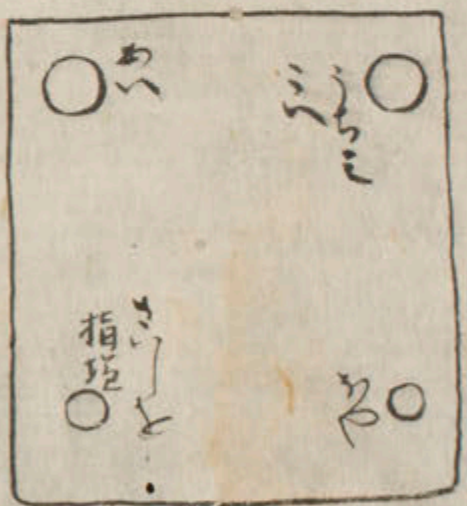
Handwritten text at the bottom left of the page.

主人尊者おぼえの
きりかへ

一三



二

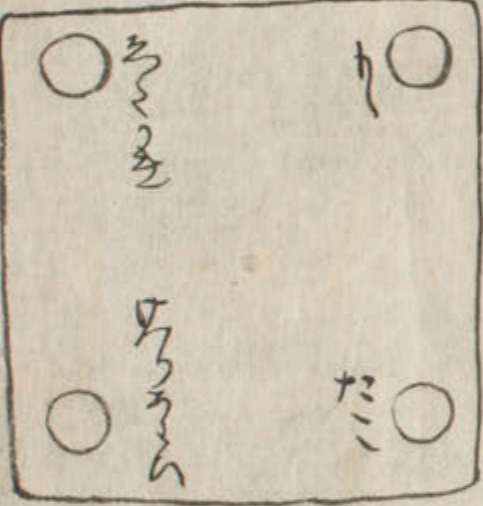


諸師の
しるし

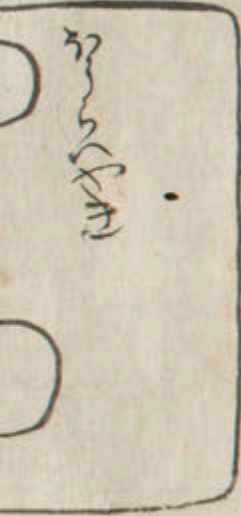
一



二



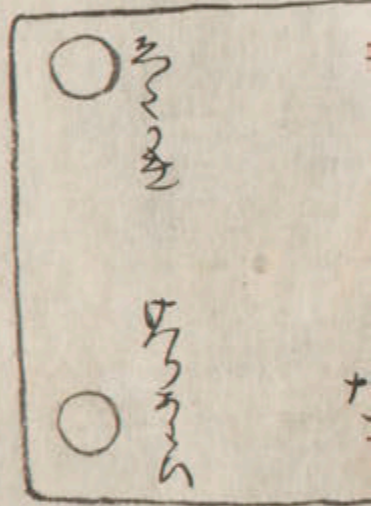
次
の
しるし



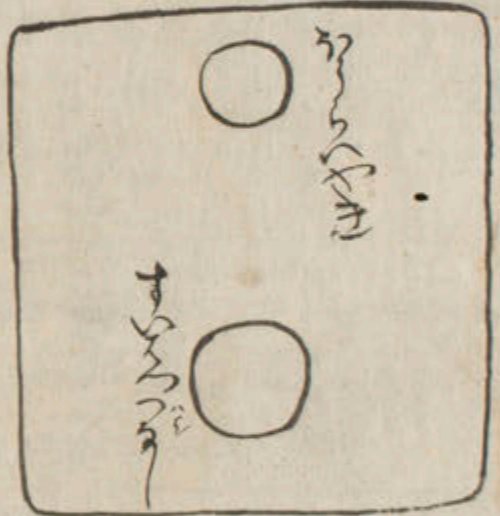
格

格
の
しるし

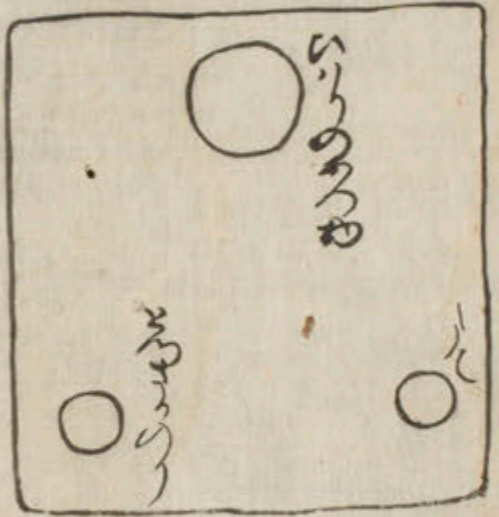
一
三



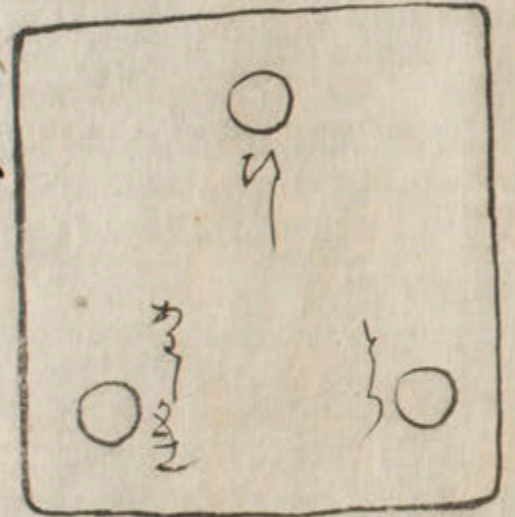
次はまじりかきまのまじりかきま



水紋者毎

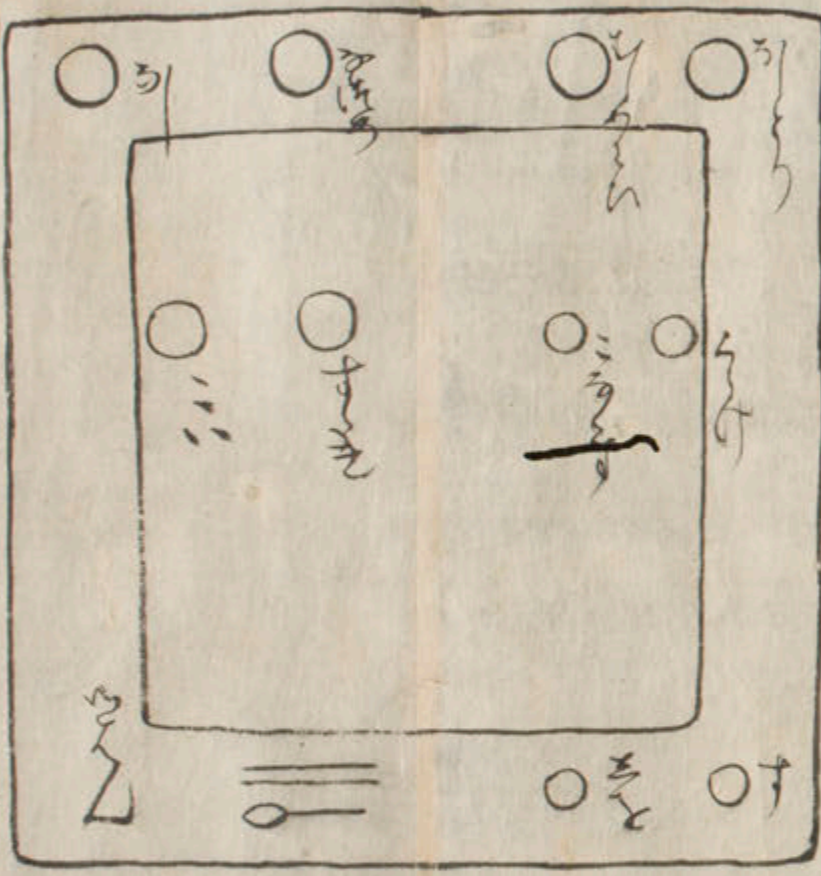
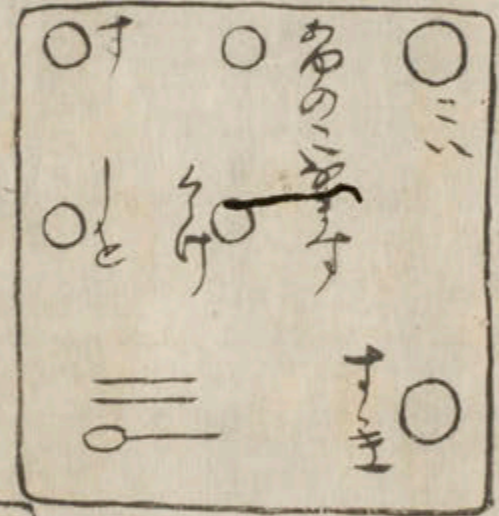
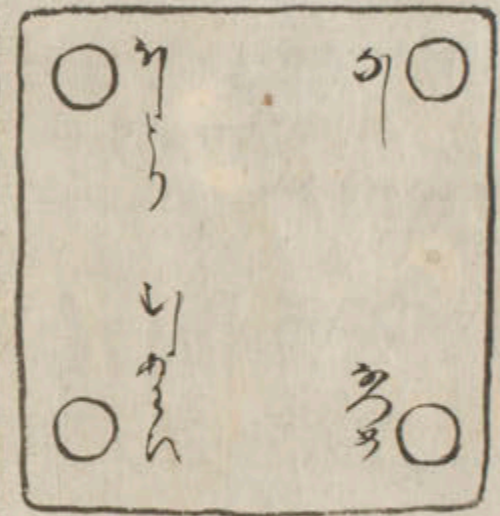
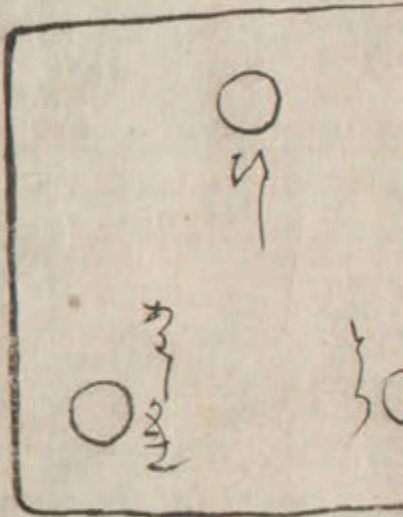


まじりかきまのまじりかきま



まじりかきまのまじりかきま
主人守者の心分

主人専者の心分
 心分を主人の心分



主人の心分

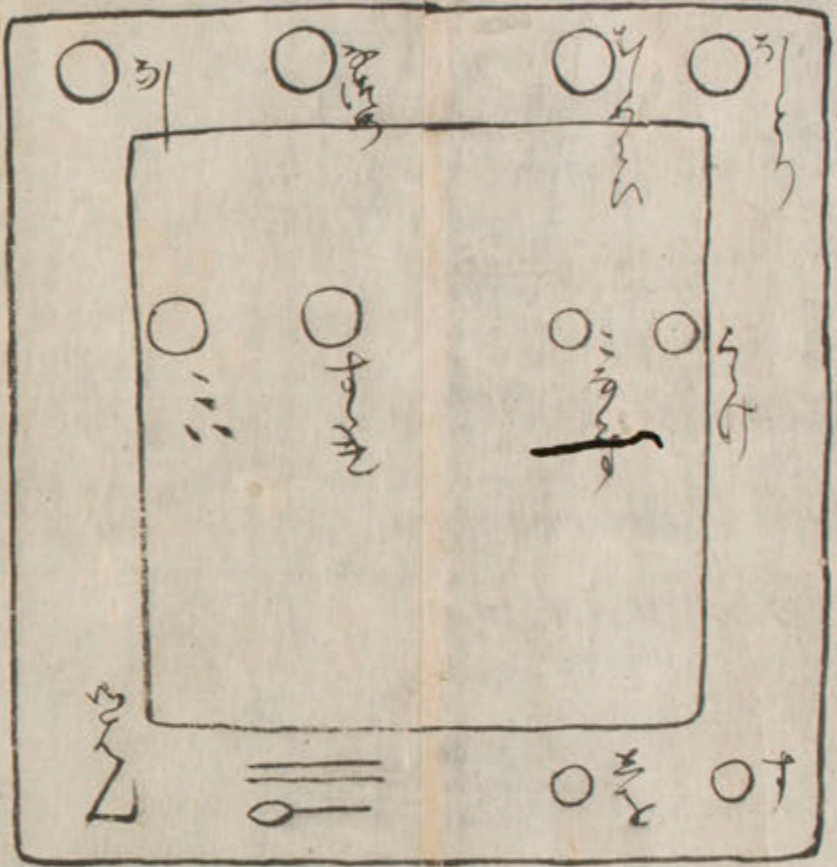
心分

心分

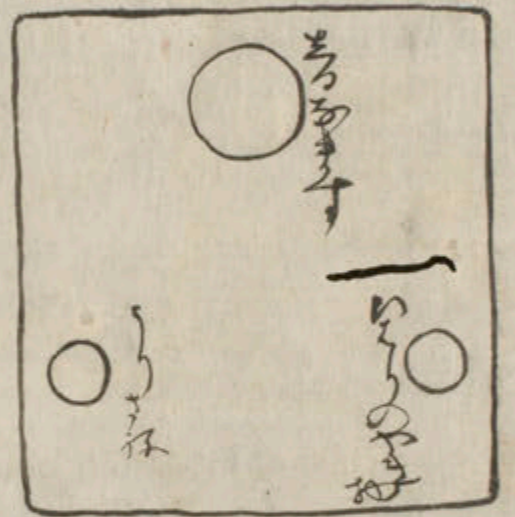
主人の心分

七

五

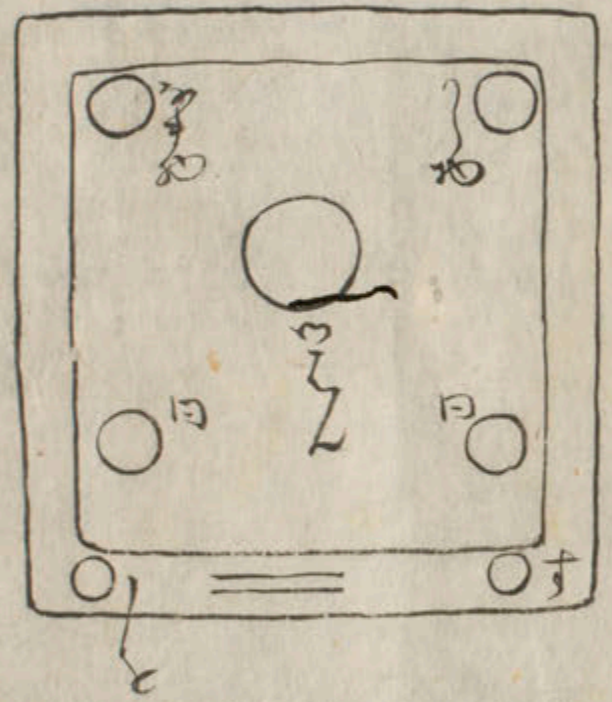


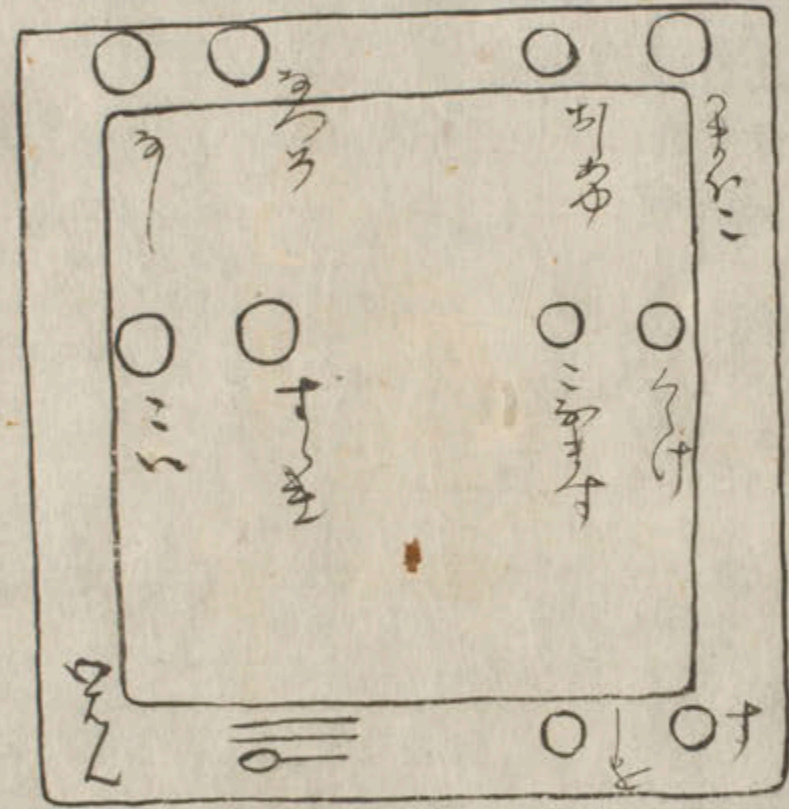
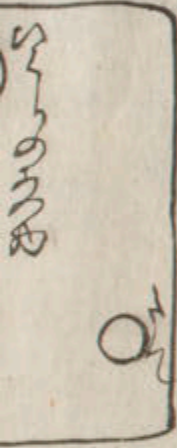
三三三のなまじり



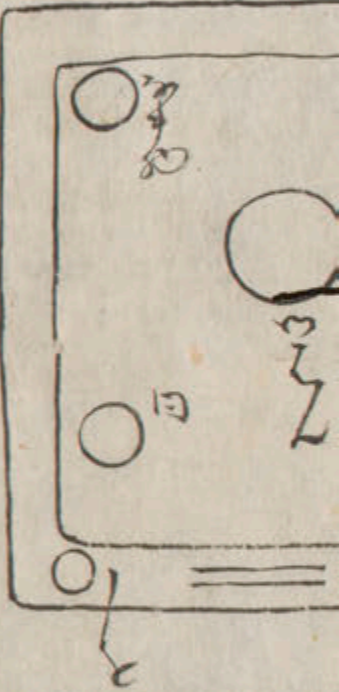
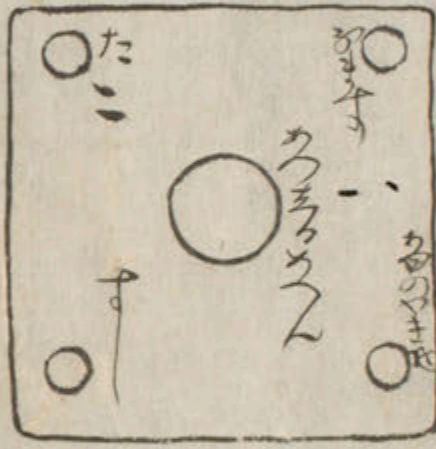
三三三のなまじり

二後地

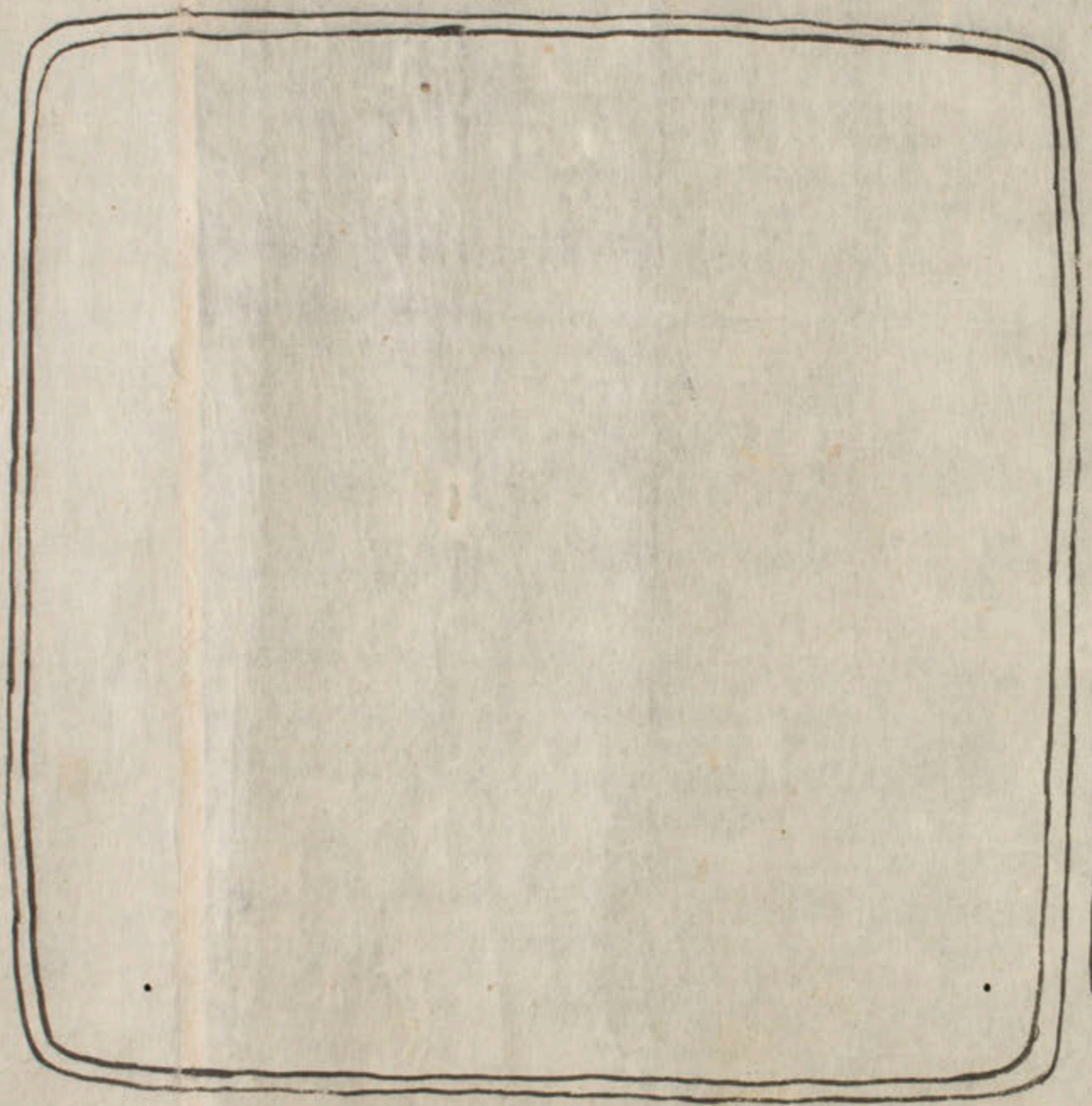




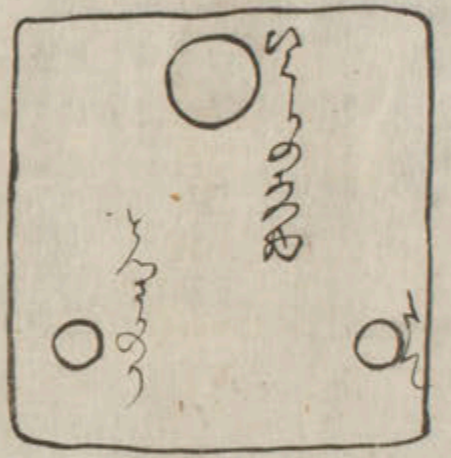
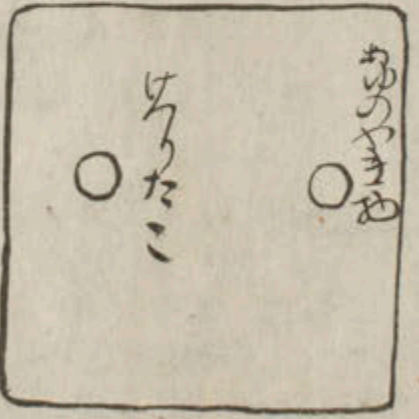
しん
おん



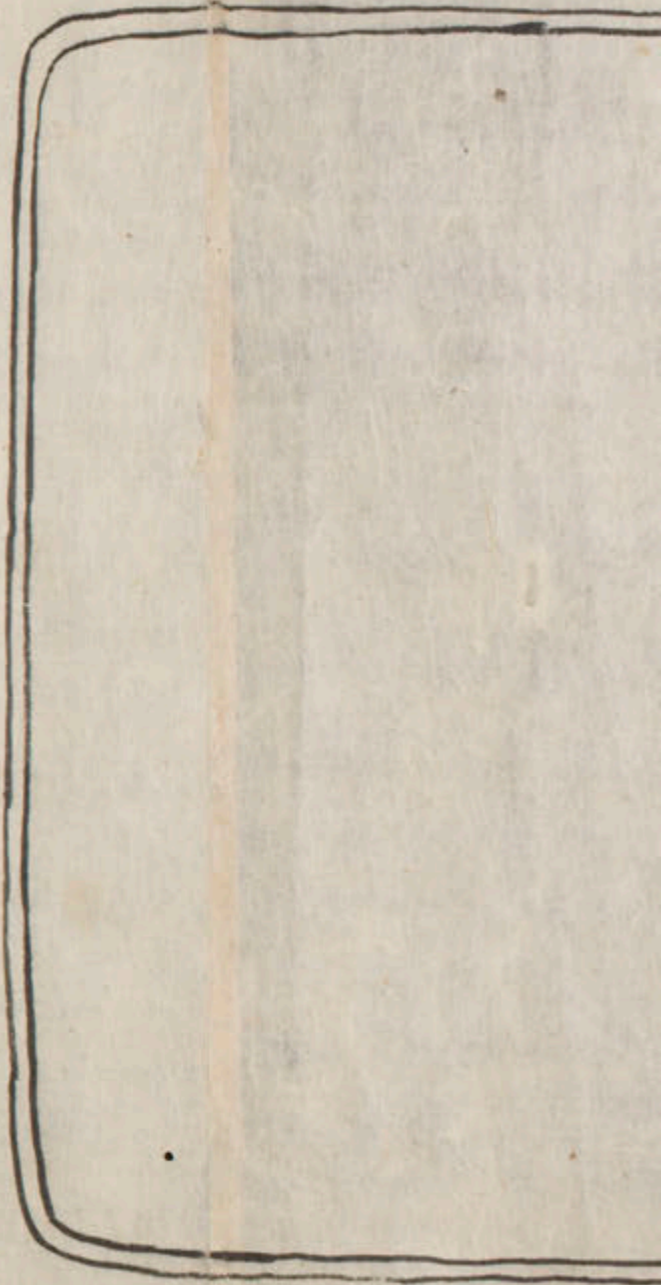
天
心



4



2



水子

主人尊者

美人

景

不系

二系

○	九○
○	た○

○	○
す	○

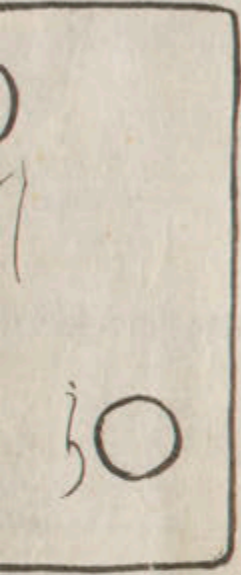
○	○
○	○

おたはせ

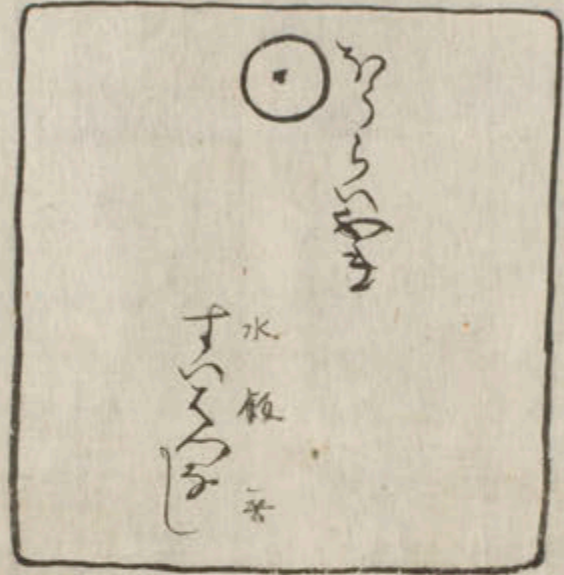
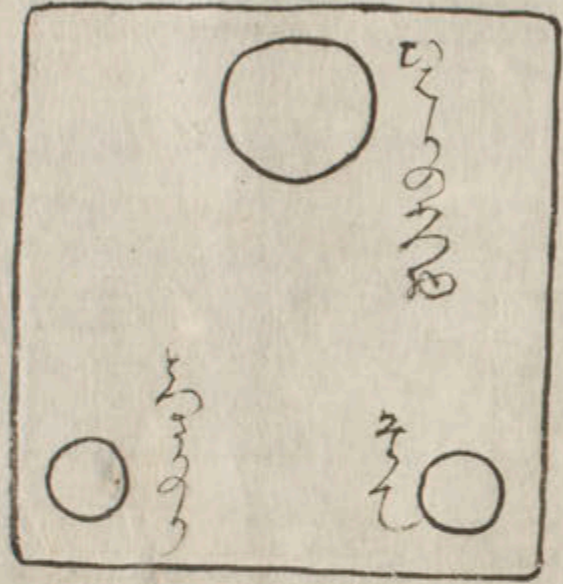
諸神の

○	○
○	○

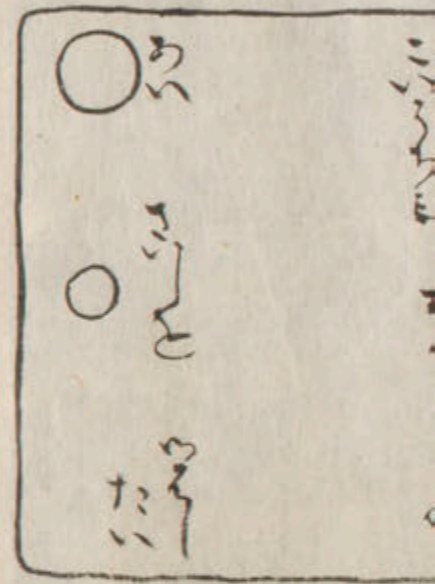
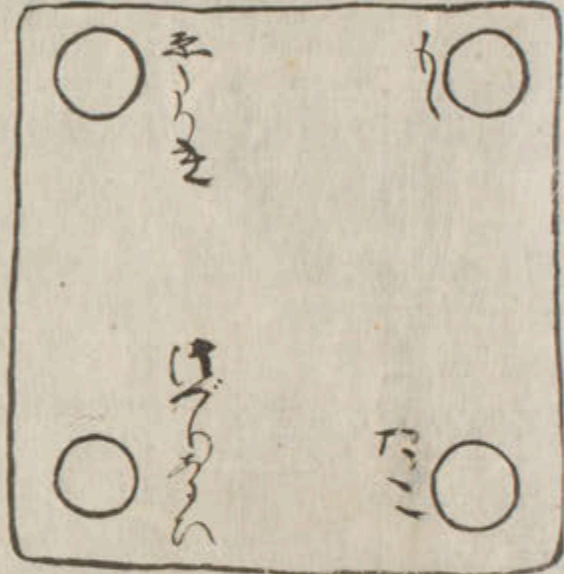
○	○
○	○



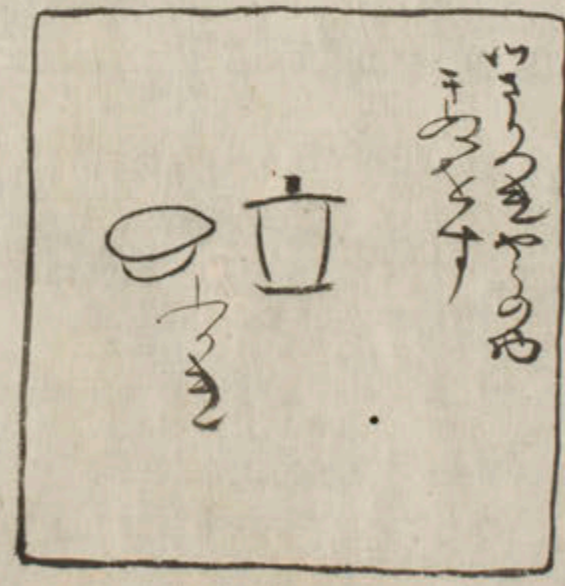
Handwritten text in cursive script, possibly a name or title, written vertically.



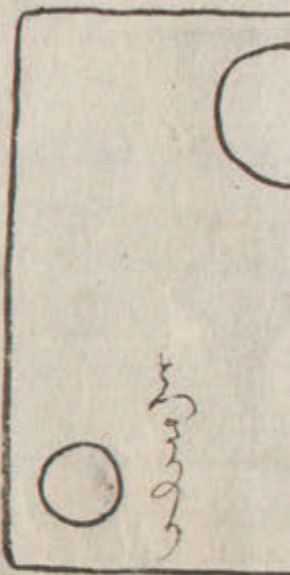
Handwritten text in cursive script, written vertically.



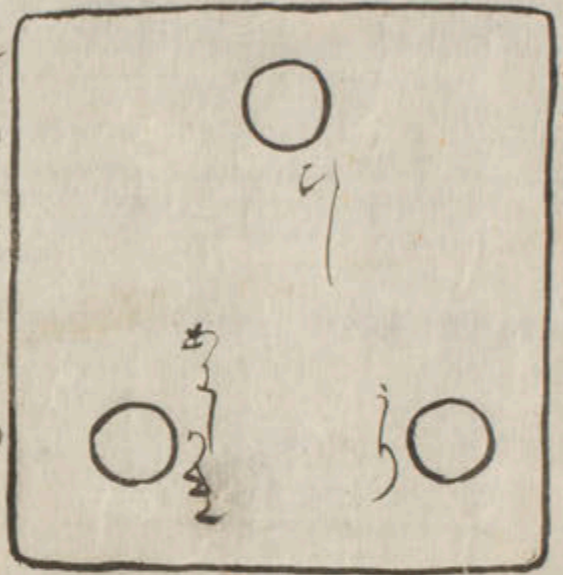
Small handwritten mark or character at the bottom left of the page.



Small handwritten mark or character at the bottom right of the page.

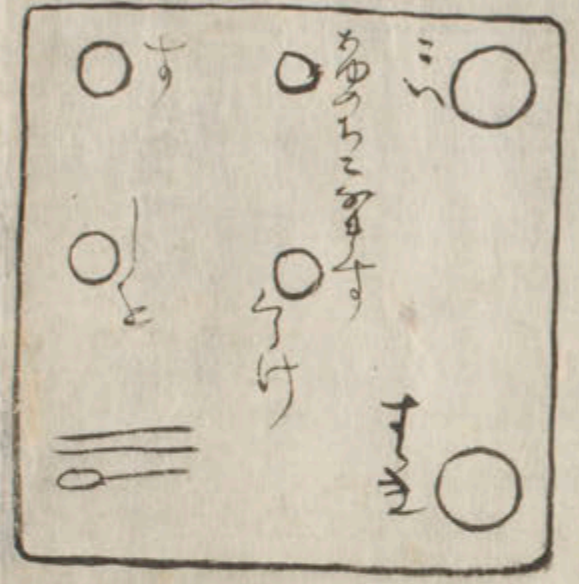
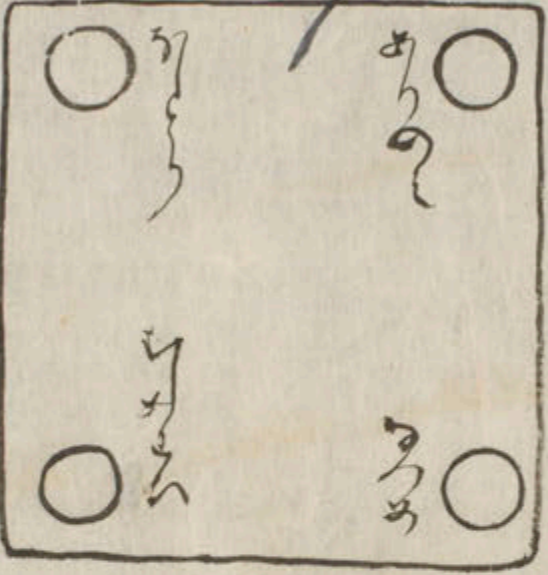


あまのり
あまのり



あまのり

主人尊者のら分



同



十一



十二

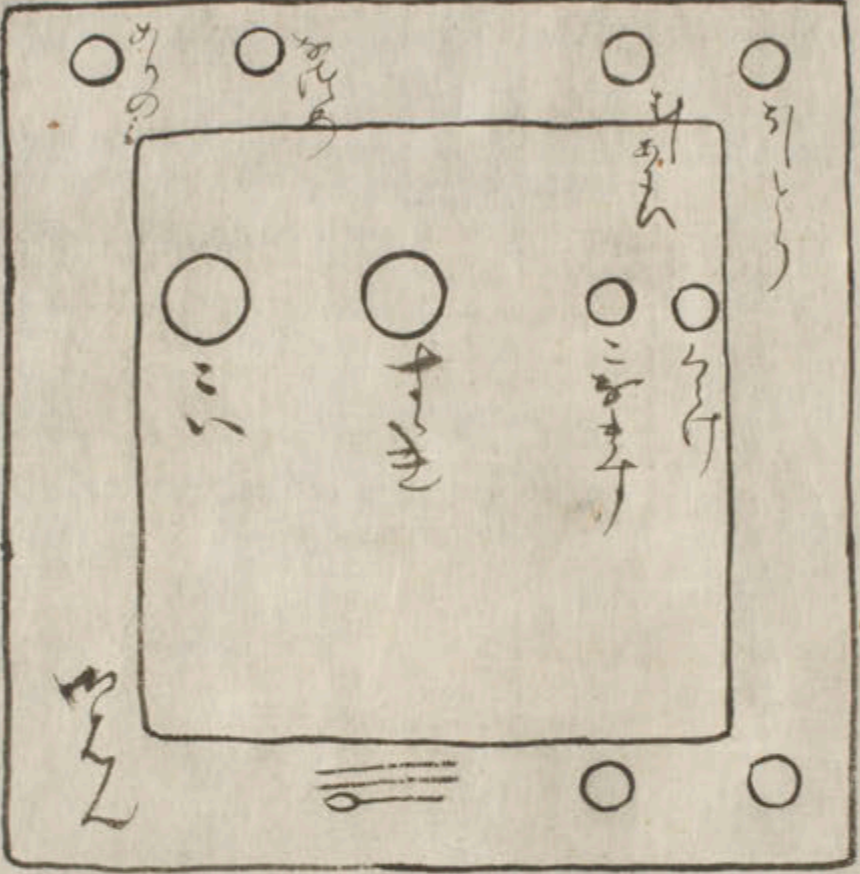


二後地方

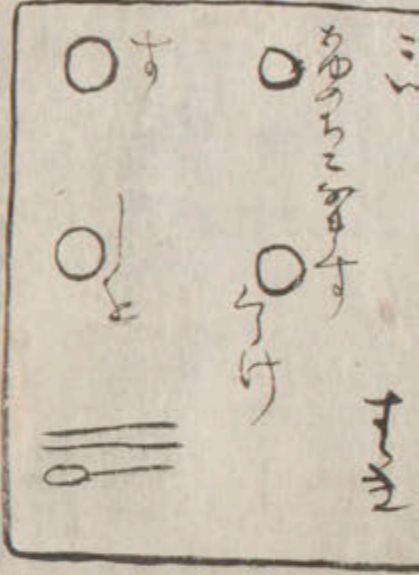
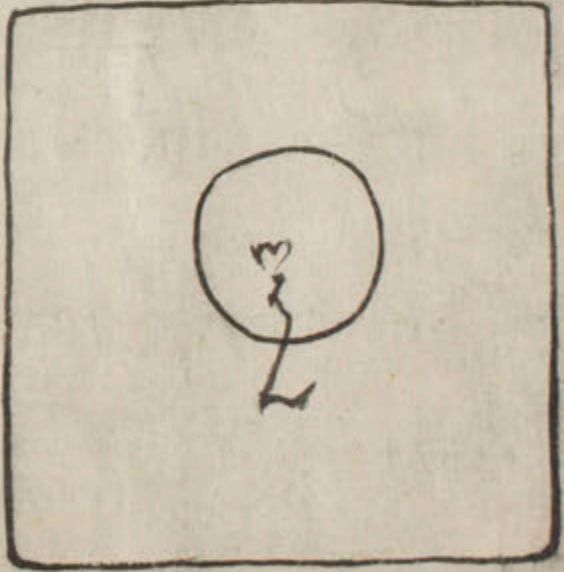
大いなるおかし



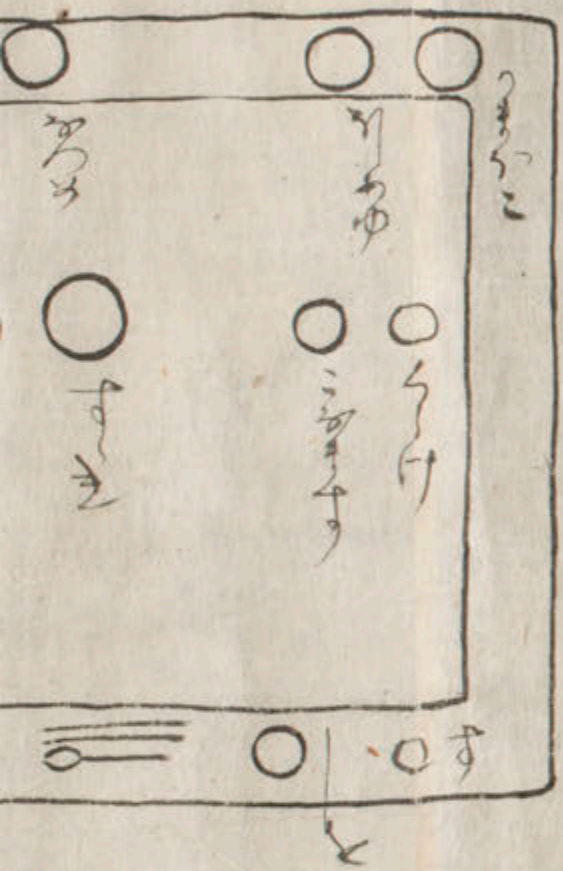
三三のねん



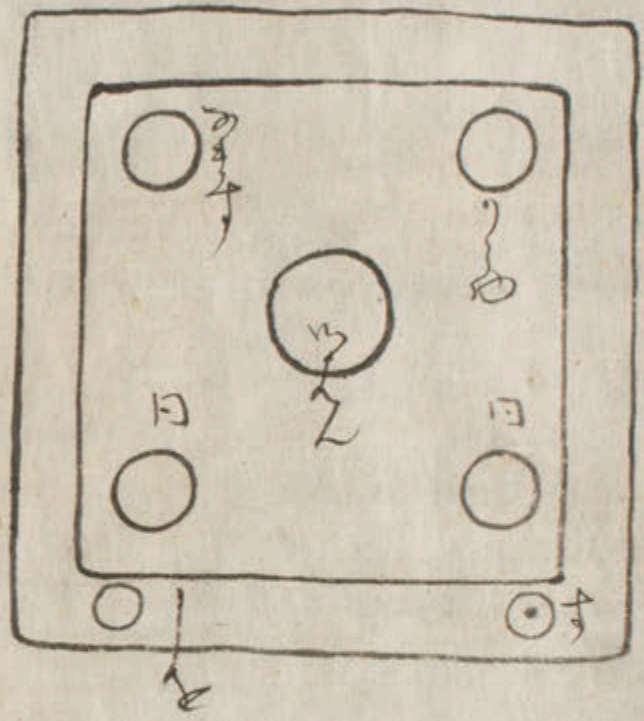
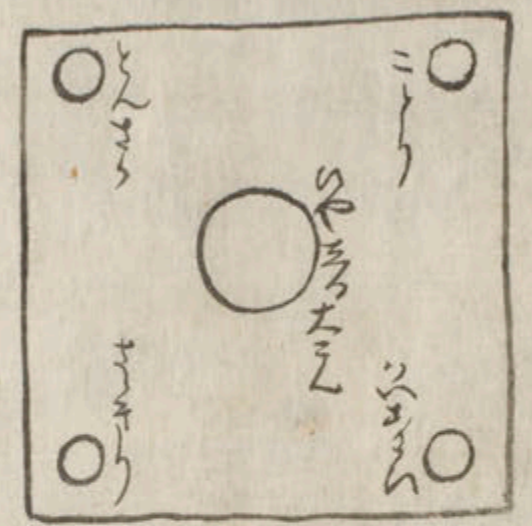
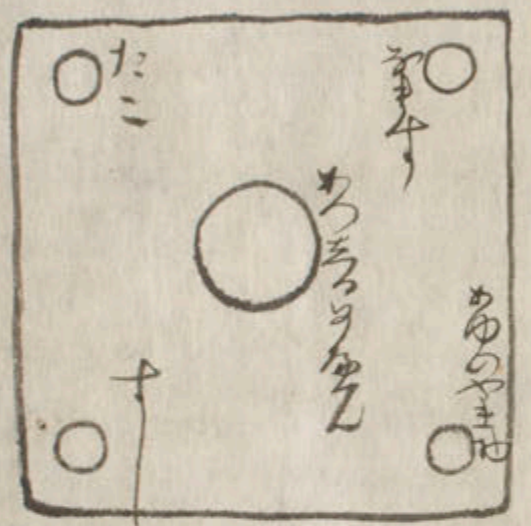
諸師のつら



同



Handwritten vertical text: 二後地方



二後地方

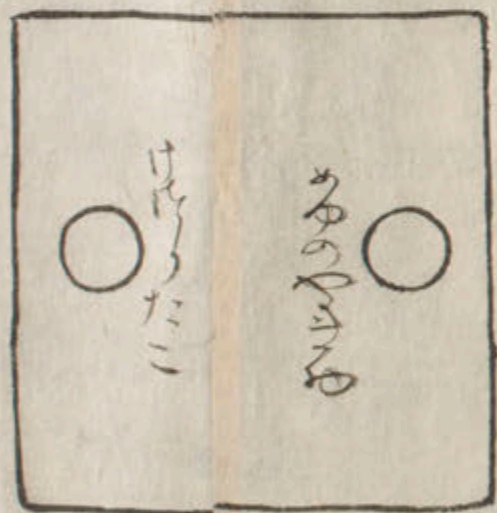
Handwritten vertical text: 二後地方



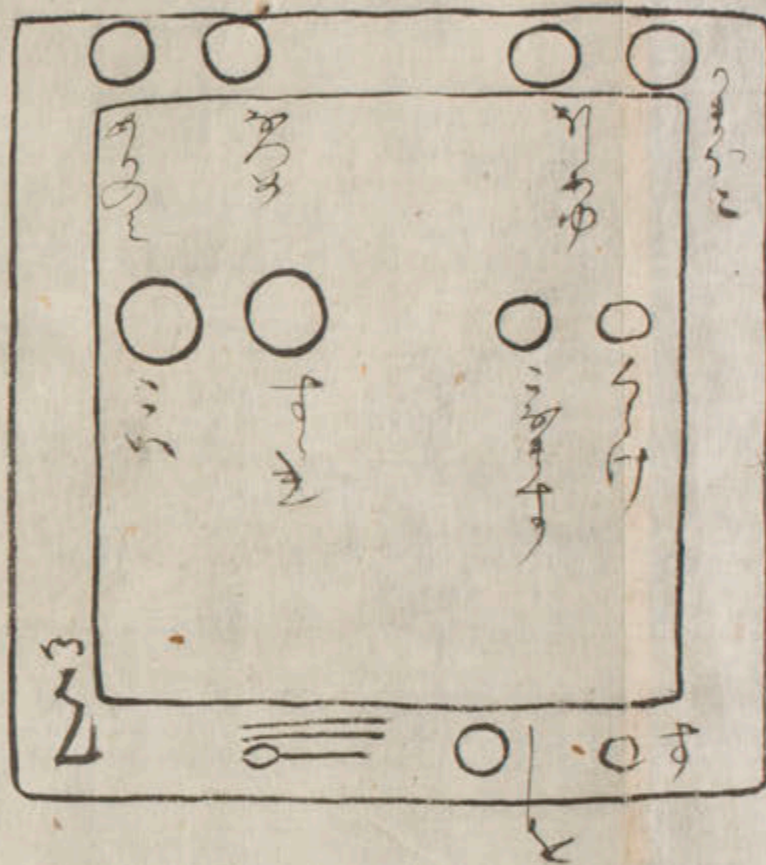
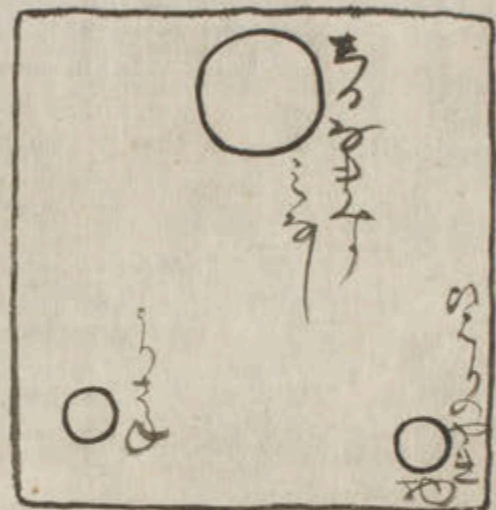
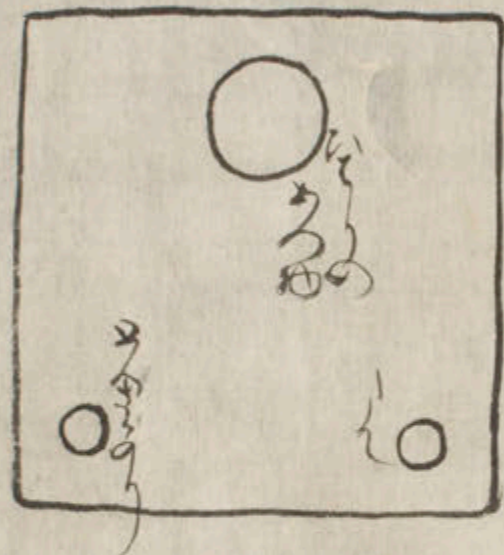
Handwritten mark: +x

Handwritten mark: +x

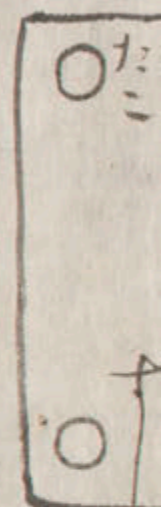
正安元年四月廿二日大宴

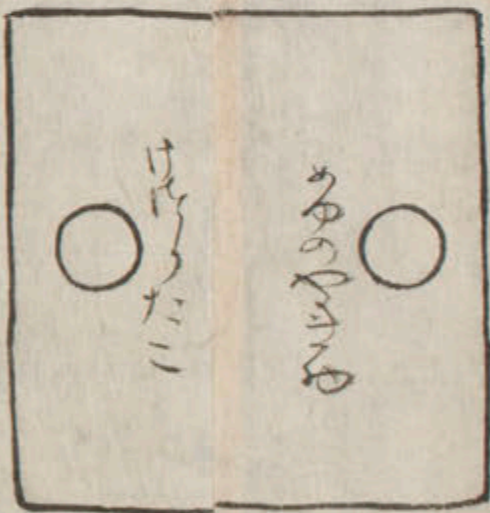


十六



十六





十六

正安元年四月廿二日大饗

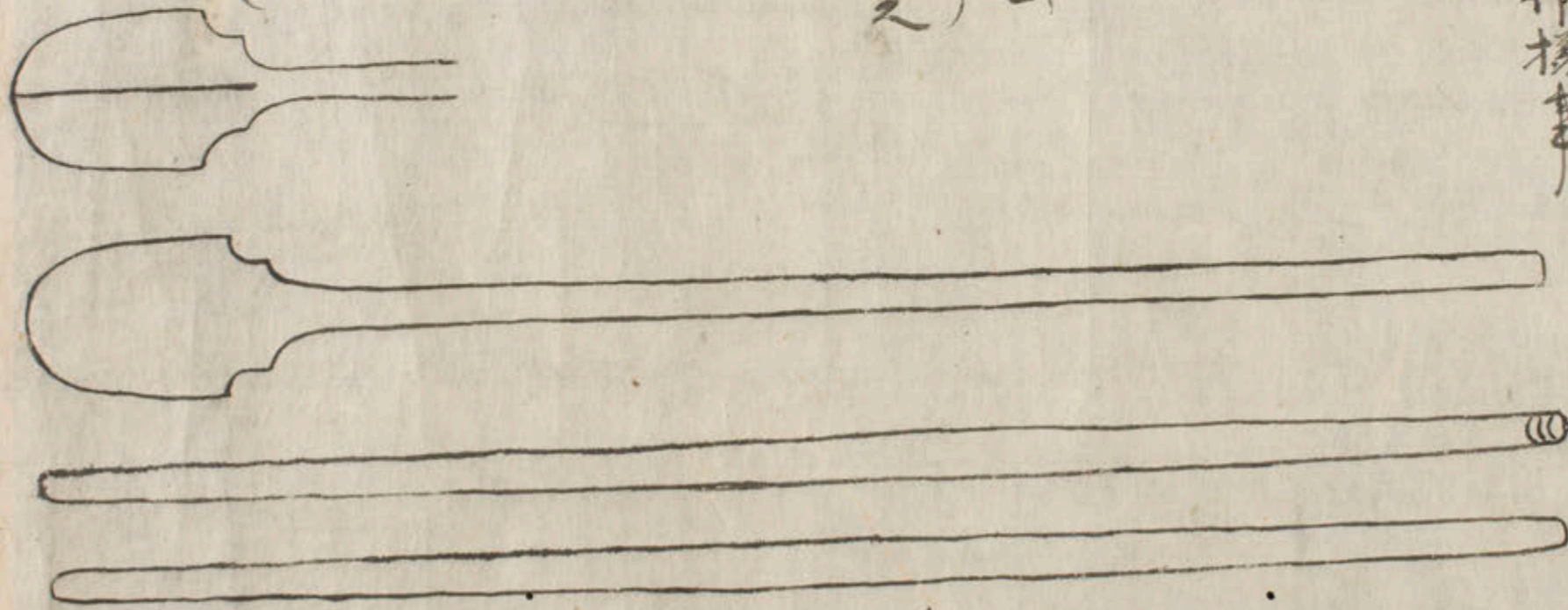
箸七作様事

着行方其末之如此

刻之

箸七之置扱之
寸法大抵之所
覚悟以抄作之
後其色白

匕ノ裏
如此



匕ノ面之面之取之

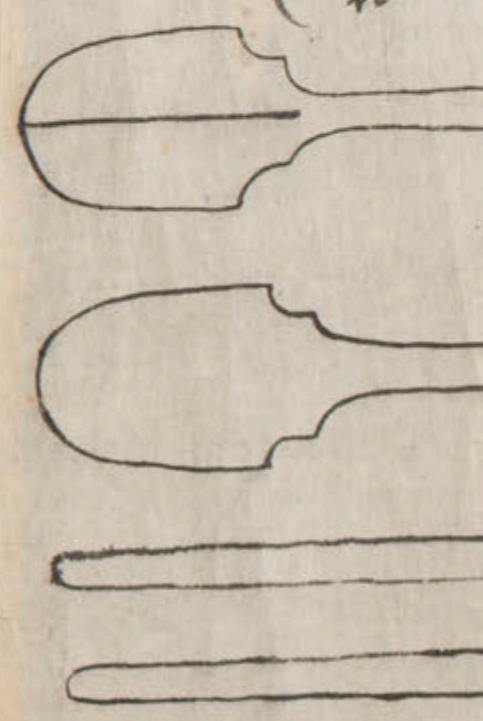
前

十七

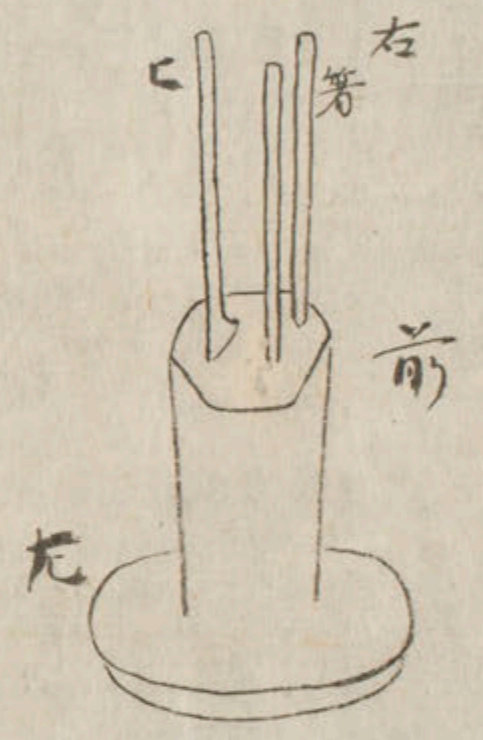
右

前

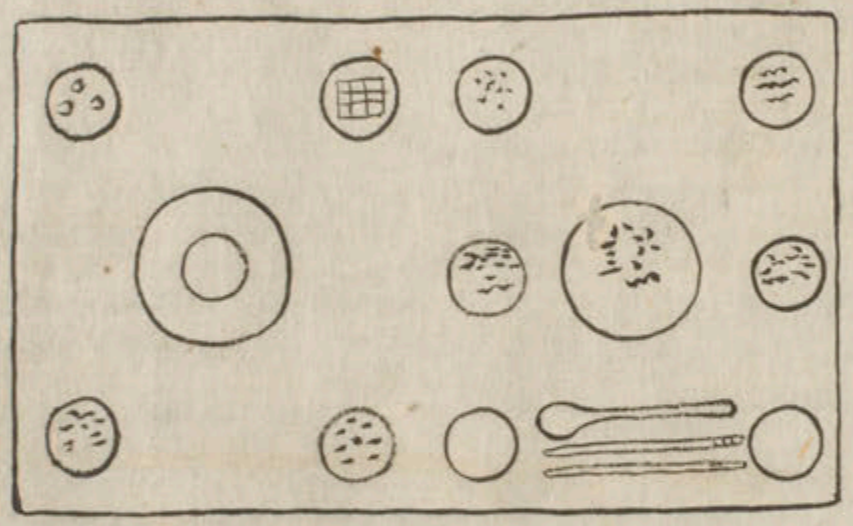
二人露
如也



二人面を成取之



箸様



餐其特大概

水高七

尊者御分のついで

次

一

二

三

尊者御分のしつとにさし

次は

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ 御 かくり かくり

一 おききしめ

一 おききしめ

一 おききしめ

一 おききしめ

おしきの権地 二様くす
おしきの権地 二様くす
おしきの権地 二様くす
おしき

二二

おしき 二様くす

おしき 二様くす

おしき 二様くす

三三

おしき 二様くす

おしき 二様くす

おしき

おしき 二様くす

おしき 二様くす

二二

おしき 二様くす

おしき 二様くす

おしき

おしき 二様くす

二二

おしき 二様くす

おしき

おしき 二様くす

おしき 二様くす

おしき 二様くす

おしき 二様くす

く 二行 きのき ちりり
之の行 します ちり

尊者の ちりり ちりり ちりり ちりり
主人の ちりり ちりり ちりり ちりり
殿上人は ちりり ちりり ちりり
尊者の ちりり ちりり ちりり
けき ちりり ちりり ちりり

ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり

大石の 大徳 ちりり

ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり

ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり
ちりり ちりり ちりり ちりり

主人
尊者

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

○ 〆

尊者

主人

白

此の文は、
その人から来たもの
である。おたのしみ
である。

おえ

うー、おたのしみ
である。おたのしみ
である。

尊者

主人

其の外のくまやうに

わー、おたのしみ
である。おたのしみ
である。

尊者のほくまに
おたのしみである。

主人、おたのしみ
である。おたのしみ
である。

殿、おたのしみ
である。おたのしみ
である。

尊者のほくまに
おたのしみである。

わー、おたのしみ
である。おたのしみ
である。

おたのしみ

主人お礼長に
おたのしみ分

措度したおたのしみ

足るおたのしみ

おたのしみ、
おたのしみ

おたのしみ、
おたのしみ

おたのしみ、
おたのしみ

おたのしみ、
おたのしみ

おたのしみ

是乃心也

急乃心也

極乃心也

至乃心也

大乃心也

永言心也

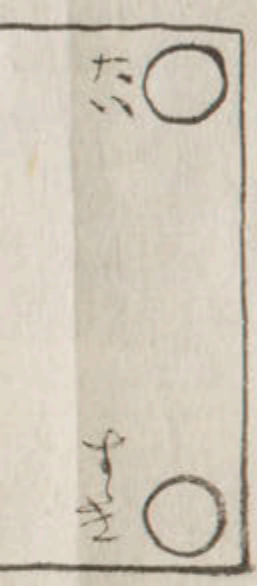
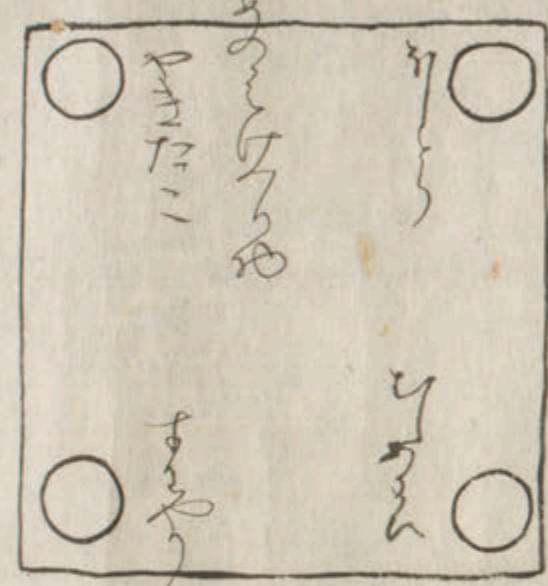
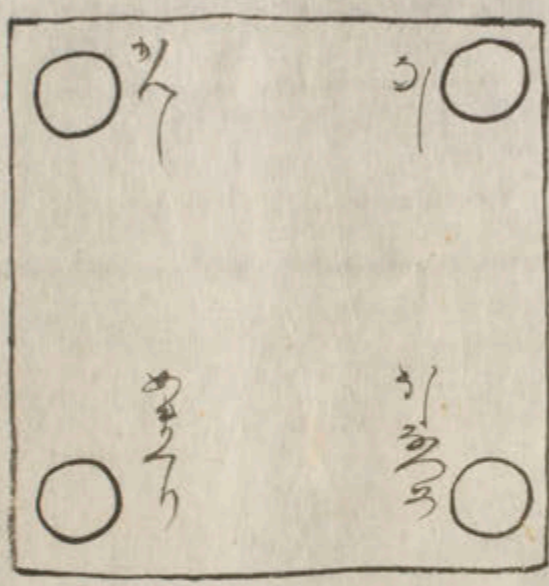
大卿食源

紀書四七廿

尊者清公是机二部

次乃心也

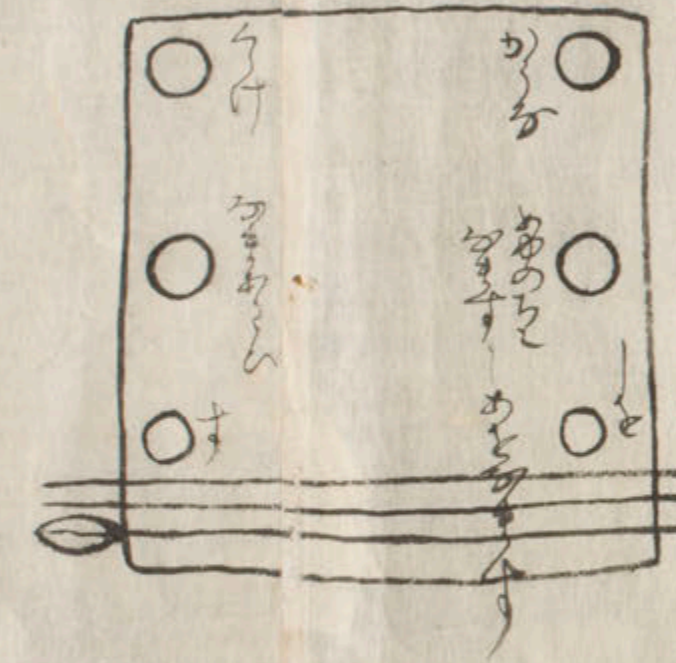
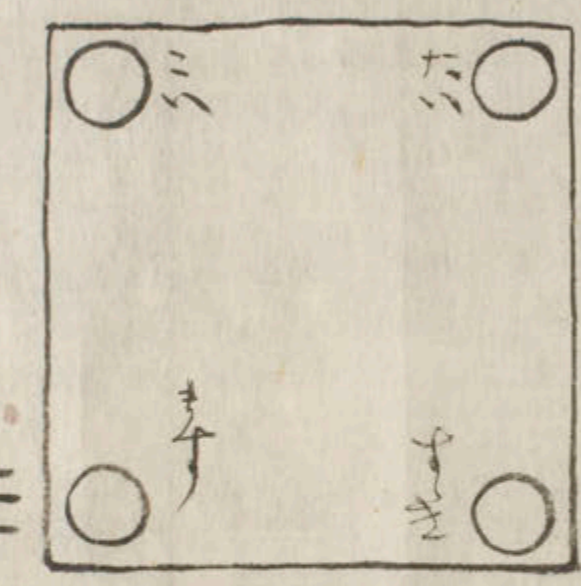
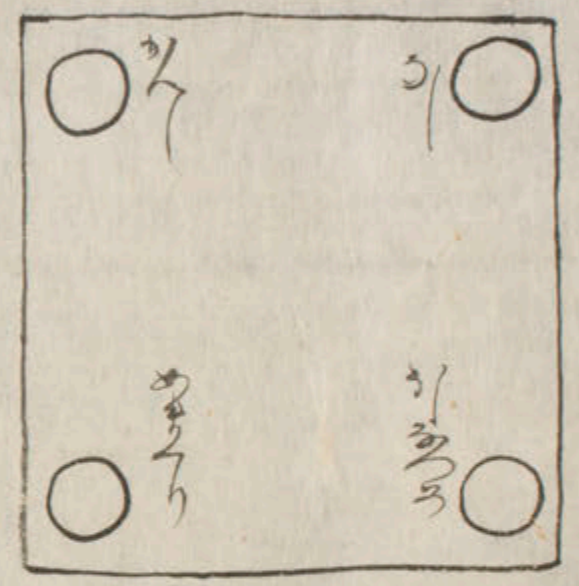
乃心也



道長...
...

次...
...

...



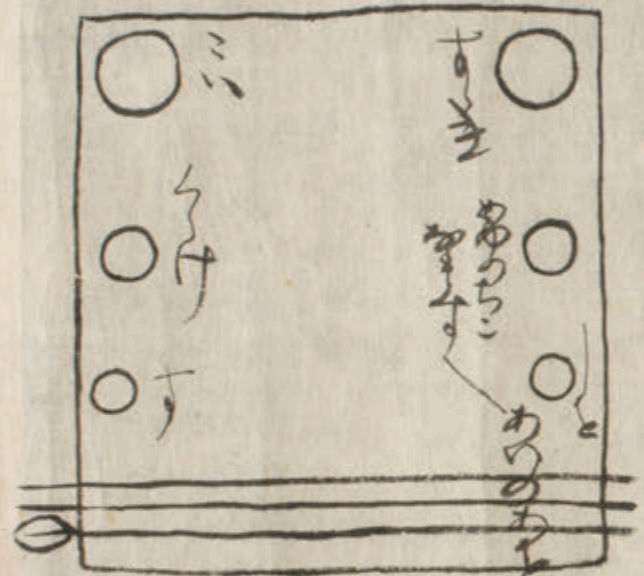
...

...

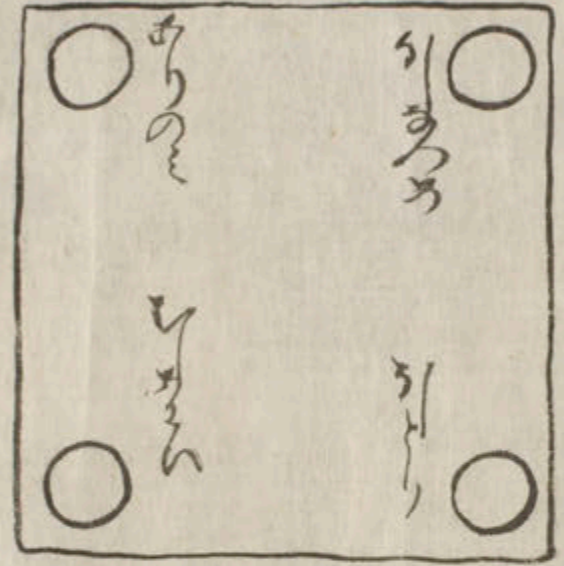
+

+

三ノ



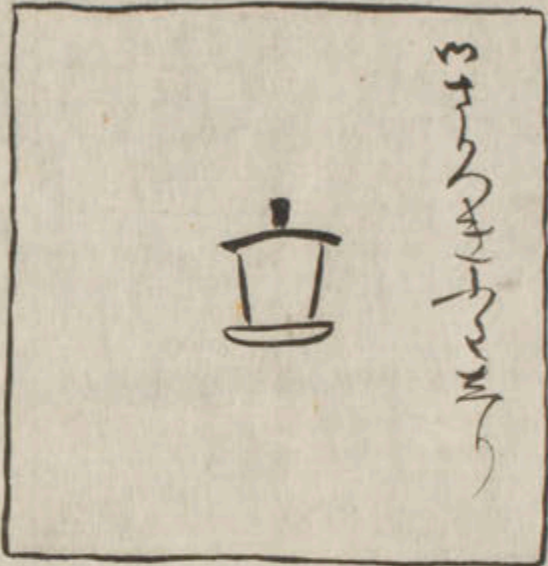
あちすき



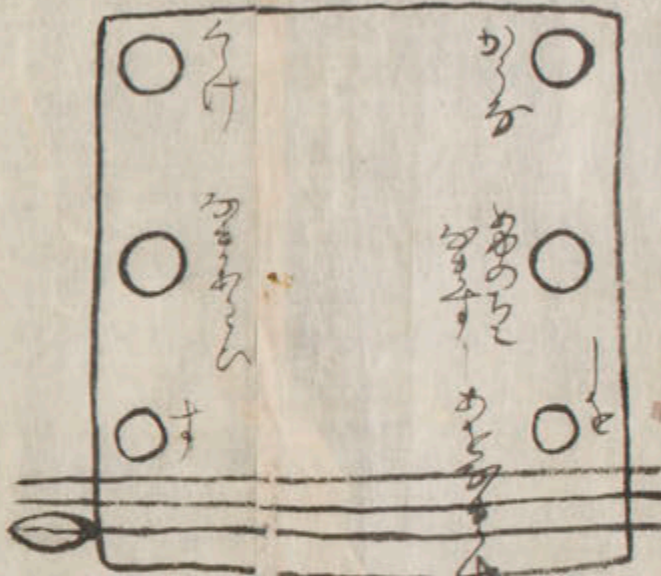
あちすき

あちすき

あちすき

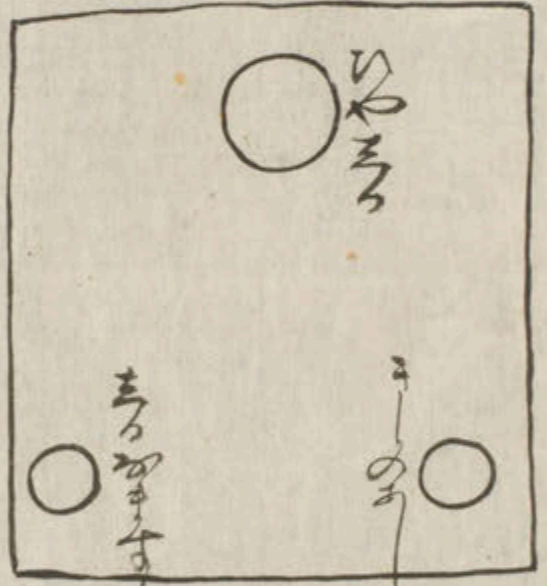
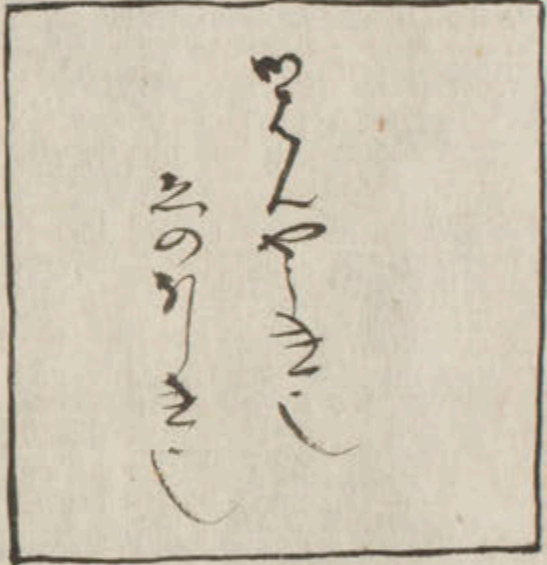
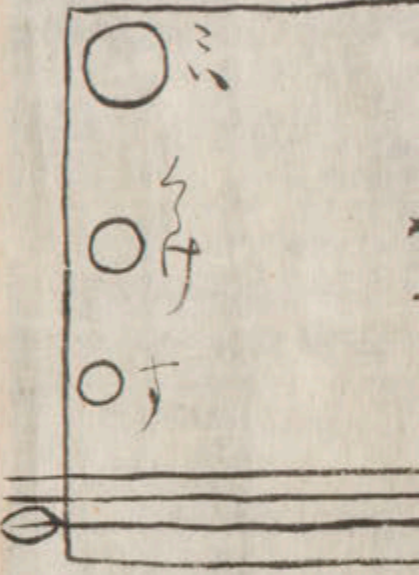


あちすき

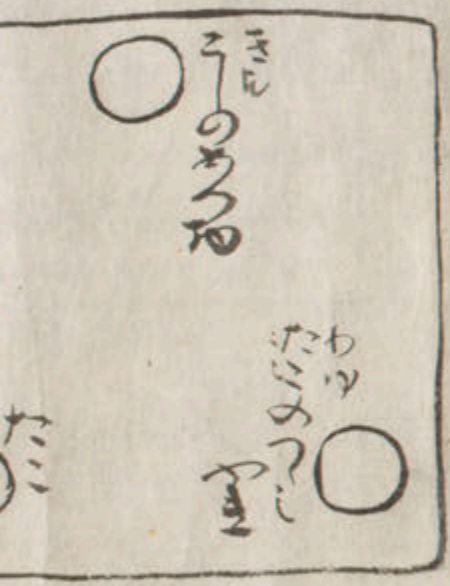
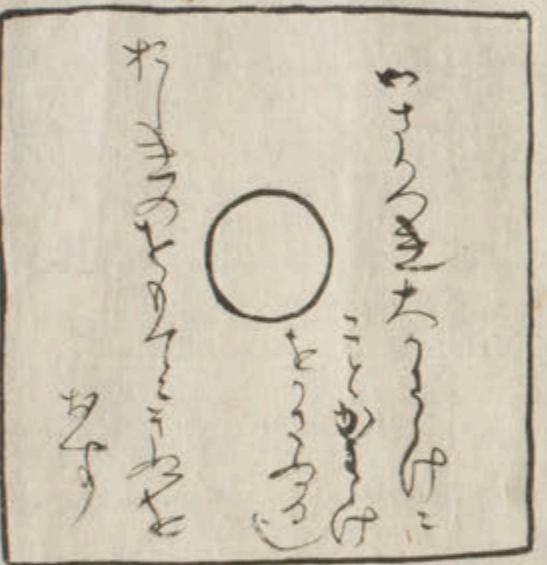


あちすき

三二



三二一

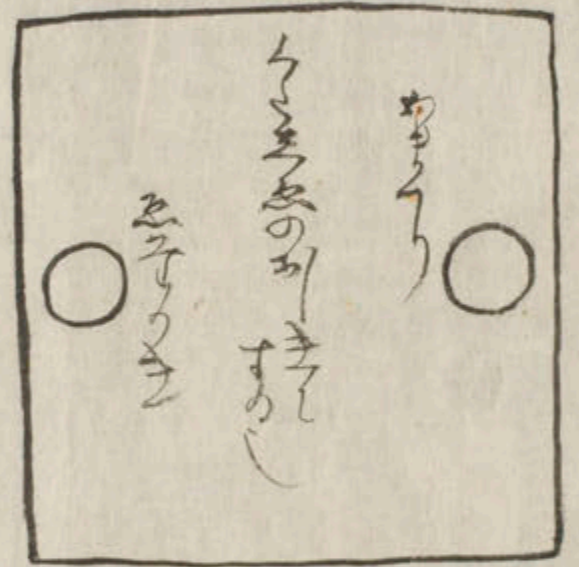


三二一

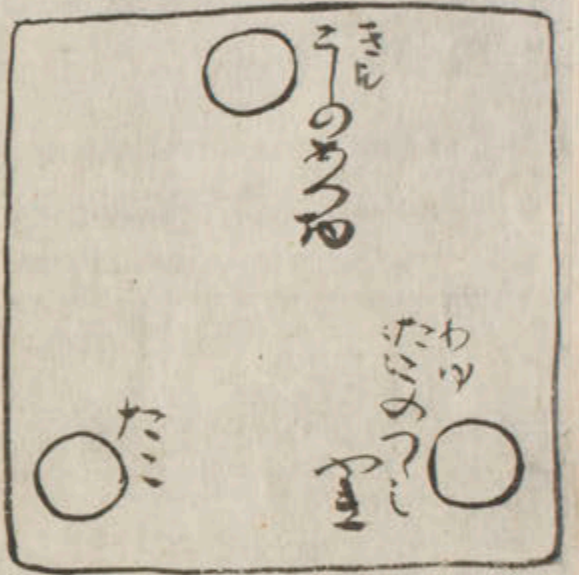
三二一

三二一

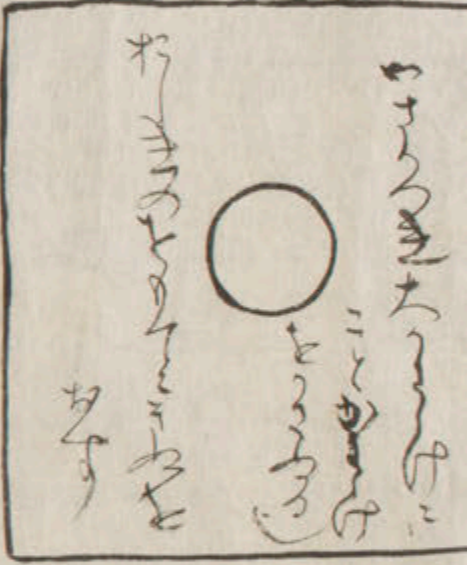
一 尊者の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



〇



...
 ...
 ...

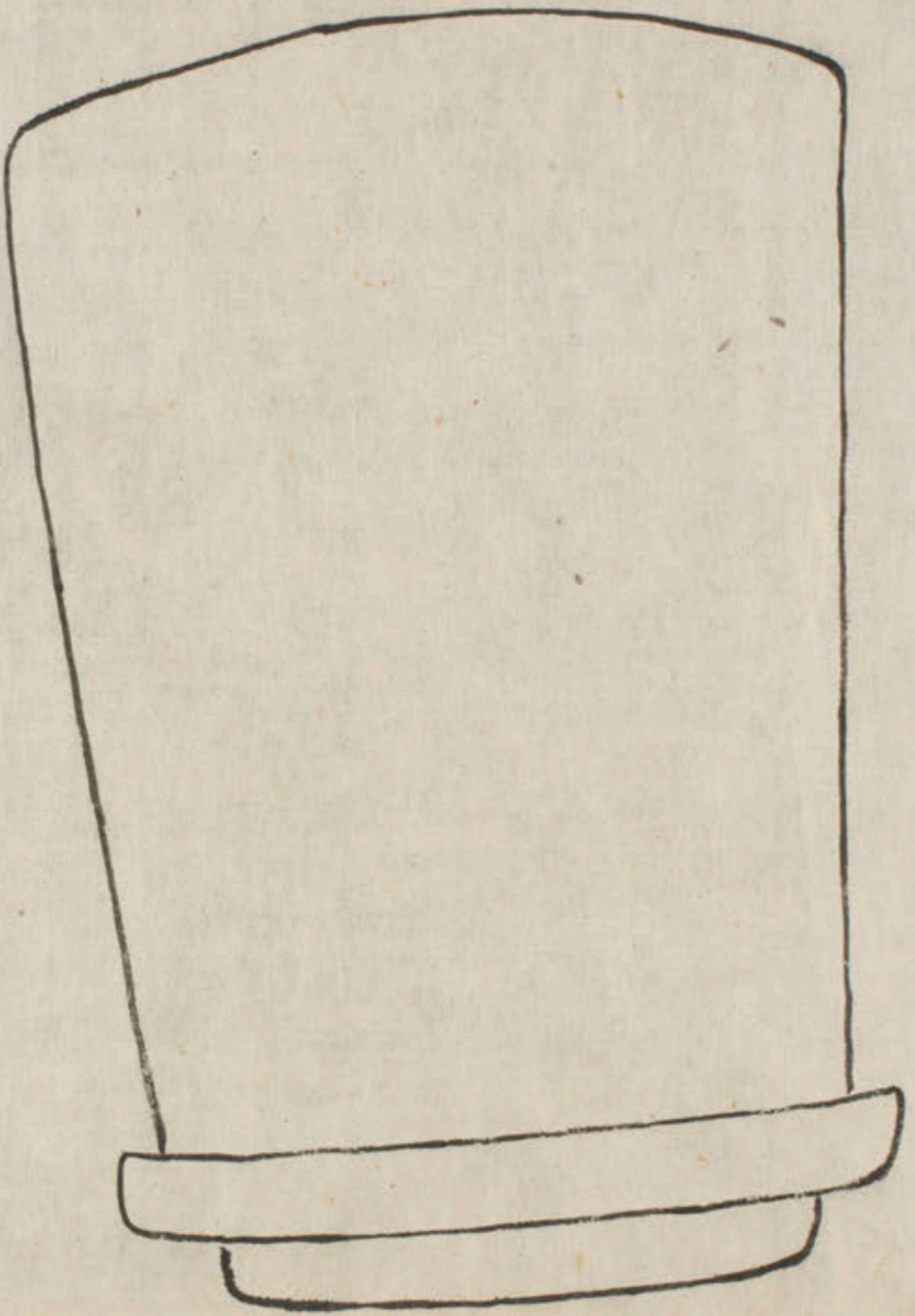
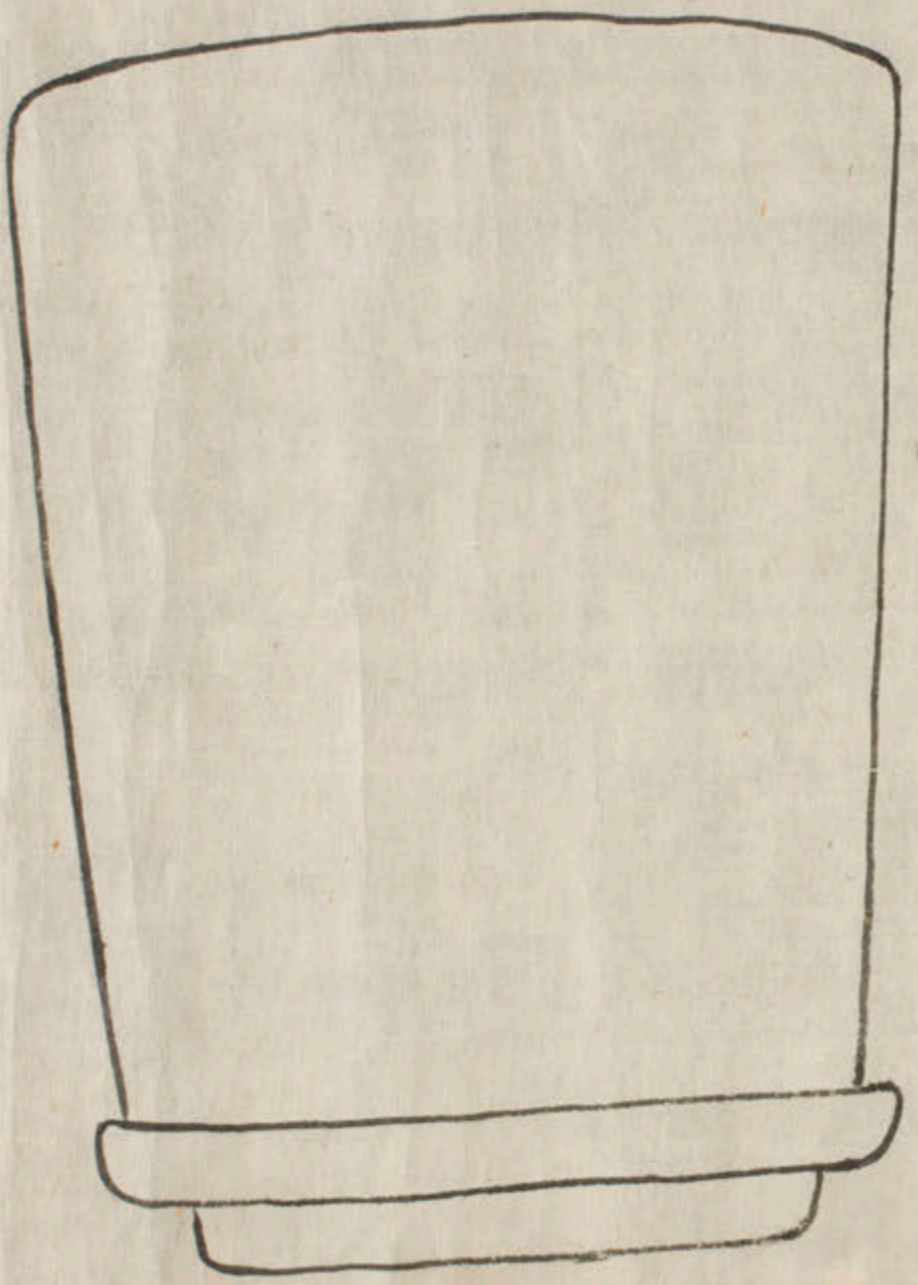


...
 ...



諸君

5255-6
100-5
100-5



5255-6
100-5
100-5

諸君

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

九

松^マ
 の^シ
 ち^シろく^シ
 青^シ

松^マ
 の^シ
 ち^シろく^シ
 青^シ

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

三十一

一 子す百

一 子す百
下三行

一 子す百
下三行

一 子す百

一 子す百

一 子す百

一 子す百

一 子す百

一 子す百